

北陸地域の金融構造

丹羽 ^(注1)
昇

^(注1)
本研究は富山大学日本海経済研究所の援助を受けたものである。また、内容や統計手法については本学部菊田健作助教授から数々の御指導を得、更に57年度小生ゼミナール諸氏は資料の収集・整理に関し多大な労を提供してもらった。ここに感謝の意を表するものである

1. 地域別金融構造の意味

金融構造という言葉は一般によく用いられているが、必ずしもその定義が明確に確立しているわけではない。ここでは一応広義に解して、構造的観点からみた金融の性格を意味するものとしよう。^(注2)

(注2) 日本銀行の鈴木淑夫氏は、わが国のマネーフローの特徴から金融構造の特色として、①オーバーローン、②オーバーボロウイング、③資金偏在、④間接金融の優位の4つを挙げているが、このような理解は上述の観点よりも狭義のものと解することができよう。(鈴木淑夫「現代日本金融論」東洋経済新報社昭和49年)但し、第1次石油ショック以降、これら4つの特色は次第に変質しつつある。

広義の金融構造はさまざまな観点からとらえられるか、その主要なものとしては、次のようなものが挙げられている。

- ① 資金調達構造(金融方式)
- ② 金融市場の構造
- ③ 金融機関の構造
- ④ 金融の企業規模別構造(金融の二重構造)
- ⑤ 通貨の構造と通貨供給メカニズム
- ⑥ 金融連関比率
- ⑦ 金利構造

これらの金融の構造的側面は④、⑦を除けば、資金循環表(日本銀行の金融取引表、および金融資産負債残高表)を分析することによりほぼ明らかにすることができる。しかし、本論文で問題とする地域別の金融構造を分析しようとする場合、現在のところ地域別の資金循環表がデータ作成上の制約などから、作られていないため、分析には多くの困難が存在する。従って、わが国全体の金融の実態把握に比べて、地域金融の実態把握はいまだ不十分な点が多いといえよう。そこで、本論文では主として北陸地域の金融機関構造と地域的金利格差を問題とすることにしよう。

地域金融における資金の流れを考察する場合、従来から地域的な資金偏在の問題が取りあげられてきた。資金偏在論の代表的なものは、都市銀行の資金不足とその他の金融機関の資金余剰である。

資金偏在現象の発生要因としては、次の2つが挙げられている。

①大都市での財政資金対民間収支戻の引き揚げ超過と銀行券の増発、地方での財政資金対民間収支戻の散超と銀行券の還収という、地域間の資金需給実績の格差^(注3)

(注3) この側面に関する代表的論文は、井上薫、「金融構造の地域的考察」、三菱銀行『調査』昭和37年1月、である。

②都市銀行の資金ポジションの悪化(資金偏在)の原因は、都市銀行では、他の業態の金融機関に比して預金の伸びが相対的に低く、しかもその預金の伸びを上回って貸出が増加したことにある。(預貸率の上昇)

第一の要因は一般財政収支の揚げ超、散超がいわゆる現金需給バランスの地域格差を生ぜしめ資金偏在を引き起すとするものである。一般財政収支の引揚げの主体をなすものは、法人税、個人所得税、専売益金等であるが、これらは大都市に多く、地方に少ない。財政の支払いでは、地方には地方交付税の交付や食管会計の支払いが多いが、大都市には防衛費、電々、国鉄等の支払いが多く、公共事業費は両地域あまり大差ない。全体としては、財政支払いは、大都市の方が地方よりやや多いというのが国債発行以前の高度成長期の状況であった。それ故、この時期においては、財政収支の大都市での揚げ超、地方での払い超というのは、主に財政の引き揚げの程度によるものであったといえる。

大都市は地方に比べて、第二次産業、第三次産業の割合が高く、経済活動が活発で所得形成規模が大きいため、法人税、個人所得税、専売益金等の財政の引揚げが多くなる。また個人所得特に勤労所得の規模も大都市の方が大きいので、銀行券増発の大部分は大都市において生ずる。このように、大都市、地方といった地域間の資金の流れは両地域の实体经济面における所得形成に密接に関連している。

ところが、地域間の資金の流れには、前述のような財政の揚げ超、払い超から生ずるもののほか、純月間の取引が存在する。その主たるものは商品代金の流れである。一般に、地方が大都市から購入する額の方が多く、大都市と地方間の資金の流れは、財政の場合の資金の流れと逆の流れとなっている。この商品取引の決済は主として地方から大都市への為替送金や、大都市から地方への代金取り立てで行なわれる。このため内国為替決済では、大都市の金融機関の勝ち、地方の金融機関の負けとなる。従って、大都市の金融機関にとって、財政の揚げ超、銀行券の増発は資金ポジションの悪化要因であるが、地方に対する内国為替決済の勝ちが資金ポジションの好転要因となり、また地方の金融機関はこの逆のケースとなる。

このようにみえてくると、資金偏在現象を財政の揚げ超、払い超、また銀行券の増発、還収といった側面だけから説明することはできないが、財政面や日銀券の動向はやはり資金偏在の一因であることにはかわりはない。

次に第二の要因について考察してみよう。大都市に基盤を有する都市銀行は大企業の巨額の資金需要に応じて信用を供与してきたのに対し、主として地方に基盤を有する地方銀行、相互銀行、信用金庫等のその他の金融機関の取引先は主に中小企業であり、その資金需要の伸びは相対的に低かった。他方、預金吸収面では、都市銀行は個人預金の吸収に関し、その他の金融機関に比べその店

舗が大企業との取引中心に配置されていることもあり、相対的に弱い立場におかれていた。その結果、都市銀行においては、他の金融機関に比して預金の伸びが相対的に低く、逆に貸出の伸びが大であったため、預貸率が上昇し、資金ポジションが悪化した。こうして、資金ポジションの悪化した都市銀行は、資金ポジションの良好なその他の金融機関からコール市場を通じて恒常的に資金を取り入れることとなり資金偏在現象が生じたといえる。

結局、資金偏在の原因は、大都市における財政資金対民間収支戻の大幅な揚げ超と銀行券の増発、地方における財政資金対民間収支戻の払い超と銀行券の還収による地域間の偏在と、業態の異なる金融機関間の偏在（預貸率の大小に関する都市銀行とその他の金融機関の差異）の二つが複雑にかみあった点に求めることができよう。

ただ、昭和48年の秋に起った石油ショック以降、マネーフローの大幅な変化が生じた結果、資金偏在の様相も若干変化してきている。石油ショックにより、企業の投資活動が沈滞化し、資金需要が鈍化したため、法人企業部内の資金不足が縮小する一方、不況対策としての公共投資から建設国債が増加し、租税収入の落ち込みから赤字国債の発行が不可避となり、公共部門の資金不足が法人企業部門を上回って拡大している。このようなマネーフローの変化により、一般財政収支（国債を除く）は大都市では揚げ超が縮小し、地方では払い超が年々増加している。これに対し、国債に関連する財政収支をみると、昭和50年度以降大都市における揚げ超幅は巨額になり、地方でも徐々に増加している。^(注4)

（注4）大都市における国債発行による巨額の揚げ超は都市銀行、長期信用銀行、信託銀行、保険会社の本店がすべて大都市にあり、それらの国債引受けシェアが高いからである。

この結果、資金偏在現象は高度成長期におけるように、資金ポジションの悪い都市銀行が恒常的にコールの取り手となり、資金ポジションの良好なその他金融機関が恒常的にコールの出し手となるといった傾向は次第に弱まってきている。

第1—1表は昭和51年から56年までの北陸地域における日銀券発行還収状況を示したものであるが、日銀券は還収超であり、また、財政資金対民間収支は払い超となっており上前の議論に符号している。（北陸地域の金融機関の資金ポジションについては第3、4節で論ずる）

本節で論じた資金偏在の問題は各地域経済の資金需給の密接に関連している。都市地域では、財政収支は揚げ超で、且つ大企業の資金需要も旺盛であるため、金融市場は逼迫する一方、農村地域では、財政収支は払い超で、地場産業の資金需要も都市地域に比べ強くないため、金融市場は緩和傾向を有する。その結果、一般的に都市地域に比べ金利水準は相対的に低くなる傾向がみられるといえる。

このような金利の地域的格差を考察する場合、各地域における金融機関構成の相違も考慮しなければならない。つまり、各地域における各金融機関別預貯金、貸出金の構成比や預貸率をみると、かなりの差異が見られる。一般に、金融機には規模の利益が働くといわれているが、都市銀行の影響力の強い都市地域とその他の金融機関の影響力の強い地域とでは、金融機関のコストが異なり、その面から金利格差が生ずることにも留意すべきであろう。

そこで、本章の以下の諸節では、北陸地域の金融に関する入手しうるデータにもとづいて、一国

表1—1表 北陸地域の財政資金対民間収支戻と日銀券発行高

| 年月 | 財政資金対民間収支戻 (△印揚超)※ | | 日 銀 券 発 行 高 | | | |
|--------|-----------------------|-------|-------------|-------|----------|---------|
| | 全 国 | 管 内 | 全 国 | | 増 減 (△) | |
| | | | 億 円 | 前 年 比 | 全 国 | 管 内 |
| 51 年 | 7,649 | 964 | 140,200 | 11.1 | 14,029 | 98 |
| 52 年 | 6,095 | 1,071 | 154,380 | 9.1 | 14,180 | △ 16 |
| 53 年 | 3,503 | 1,787 | 177,093 | 9.8 | 22,713 | 173 |
| 54 年 | 9,371 | 2,212 | 190,686 | 11.7 | 13,593 | △ 263 |
| 55 年 | 28,603 | 1,473 | 193,472 | 7.0 | 2,786 | △ 579 |
| 56 年 | | | | | | △ 430 |
| 54. 10 | △ 10,029 | △ 9 | 148,263 | 10.8 | △ 3,557 | △ 89 |
| 11 | 17,980 | 648 | 151,791 | 10.9 | 3,528 | 36 |
| 12 | △ 654 | 258 | 190,686 | 9.5 | 38,895 | 1,233 |
| 55. 1 | △ 30,870 | △ 689 | 156,042 | 9.3 | △ 34,644 | △ 1,210 |
| 2 | △ 185 | △ 179 | 158,525 | 9.7 | 2,483 | 30 |
| 3 | 20,935 | 918 | 166,360 | 10.4 | 7,835 | 209 |
| 4 | 33,092 | 947 | 165,594 | 10.0 | 234 | △ 35 |
| 5 | 2,666 | △ 189 | 155,222 | 8.1 | △ 11,372 | △ 324 |
| 6 | △ 3,971 | 280 | 165,254 | 8.3 | 10,032 | 124 |
| 7 | △ 29,199 | △ 177 | 161,556 | 6.7 | △ 3,698 | △ 144 |
| 8 | △ 10,416 | △ 248 | 159,778 | 5.7 | △ 1,778 | △ 225 |
| 9 | △ 2,011 | 429 | 158,211 | 4.4 | △ 1,557 | △ 182 |
| 10 | 14 | △ 203 | 155,929 | 4.6 | △ 2,282 | △ 73 |
| 11 | 36,819 | 564 | 160,529 | 5.0 | 4,600 | 20 |
| 12 | 2,568 | 387 | 193,472 | 3.3 | 32,943 | 1,231 |
| 56. 1 | △ 25,799 | △ 584 | 160,953 | 3.2 | △ 32,519 | △ 1,144 |
| 2 | 4,407 | △ 1 | 165,438 | 2.6 | 4,485 | 11 |
| 3 | 20,433 | 544 | 168,275 | 2.0 | 2,837 | 91 |
| 4 | 30,649 | 815 | 168,429 | 0.7 | 154 | △ 14 |
| 5 | 19,565 | 425 | 141,486 | 2.8 | △ 6,943 | △ 188 |
| 6 | △ 4,475 | 245 | 170,989 | 2.9 | 9,503 | 133 |
| 7 | △ 12,526 | △ 100 | 168,786 | 4.3 | △ 2,203 | △ 62 |
| 8 | 1,332 | △ 129 | 167,789 | 5.0 | △ 997 | △ 189 |
| 9 | △ 3,994 | 74 | 165,815 | 5.4 | △ 1,974 | △ 172 |
| 10 | △ 2,772 | △ 208 | 164,202 | 5.3 | △ 1,613 | △ 33 |
| 11 | 27,981 | 811 | 171,074 | 6.6 | 6,872 | 65 |
| 12 | | 370 | | | | 1,072 |

(注) 管内は石川、福井、富山の3県

※印の各年は会計年度

(資料) 北陸財務局「管内主要経済指標」

全体の中で部分市場としての北陸地域の金融の特徴を、①貯蓄動向(金融資産選択行動)、②金融機関構造、③短期貸出金利の地域的格差をめぐる問題の三点について考察する。

2. 貯 蓄 動 向

地域経済における資金の流れを明らかにする上でそこにおける経済主体の金融資産選択動向に関する分析は不可欠である。特に、資金の最終的供給者たる家計あるいは個人部門の貯蓄行動の地域的差異を調べ、北陸地域の貯蓄行動の特性を明らかにすることは、北陸地域の金融構造、金融機関構造の現状考察と密接に関連している。

本節では、主に貯蓄増強中央委員会の「貯蓄に関する世論調査」を用いて北陸地域の貯蓄行動の

(注5)
特性を考察しよう。

(注5) 貯蓄に関する各種統計を比較するとかなりのばらつきが見受けられる。これは経済企画庁の国民経済計算を別にすれば、総理府統計局の「貯蓄動向調査」, 「家計調査」, 貯蓄増強中央委員会の「貯蓄に関する世論調査」等は無作為抽出方法によるアンケート調査にもとづいて推定されていることによる。

「全国消費実態調査」(総理府)による勤労者世帯の昭和49年から54年までの貯蓄率の平均をみると、北陸地域における貯蓄率がかなり高いことがわかる。(富山県30.5%, 石川県24.0%, 福井県30.0%) 第2-1表は年間収入(臨時収入を含む)からの貯蓄割合と臨時収入を含むからの貯蓄割合を示したものである。いずれも全国の貯蓄割合を若干上回る水準にあることがわかる。ただ、北

第2-1表

(1) 年間収入(臨時収入を含む)からの貯蓄割合

(単位:%)

| | 総数 (貯蓄保有世帯) | 5分 未満 | 1割 未満 | 1割 5分 未満 | 2割 未満 | 2割 5分 未満 | 3割 未満 | 3割 以上 | 不明 | 平均 割合 |
|-------|------------------|----------|----------|----------------|----------|----------------|----------|----------|------|----------|
| 全 国 | 100.0 (4,149) | 5.9 | 6.2 | 27.9 | 12.0 | 17.0 | 6.3 | 16.7 | 8.1 | 1.8 |
| 北 海 道 | (275) | 10.5 | 11.3 | 25.5 | 11.3 | 13.5 | 6.5 | 14.5 | 6.9 | 1.6 |
| 東 北 | (285) | 6.0 | 7.0 | 36.5 | 6.7 | 10.5 | 2.1 | 17.2 | 14.0 | 1.8 |
| 関 東 | (703) | 4.7 | 4.8 | 28.7 | 14.1 | 16.5 | 6.7 | 16.6 | 7.8 | 1.8 |
| 京 浜 | (531) | 6.0 | 7.5 | 28.2 | 9.4 | 20.0 | 5.8 | 17.3 | 5.6 | 1.8 |
| 北 陸 | (296) | 4.1 | 7.8 | 29.4 | 12.2 | 15.2 | 6.4 | 16.9 | 8.1 | 1.8 |
| 中 部 | (537) | 6.0 | 6.1 | 25.7 | 12.1 | 19.6 | 6.3 | 17.1 | 7.1 | 1.8 |
| 近 畿 | (363) | 8.0 | 4.7 | 28.1 | 12.4 | 20.1 | 6.1 | 15.4 | 5.2 | 1.7 |
| 阪 神 | (332) | 6.3 | 5.4 | 24.7 | 12.7 | 18.7 | 7.5 | 14.8 | 9.9 | 1.7 |
| 中 国 | (312) | 7.1 | 3.8 | 27.2 | 13.1 | 19.6 | 6.4 | 17.9 | 4.8 | 1.8 |
| 四 国 | (269) | 2.2 | 4.8 | 21.6 | 17.5 | 13.0 | 8.9 | 19.7 | 12.3 | 2.1 |
| 九 州 | (475) | 4.6 | 6.1 | 25.7 | 11.8 | 12.8 | 7.4 | 18.3 | 13.3 | 1.9 |

(2) 臨時収入からの貯蓄割合

(単位:%)

| | 総数 (貯蓄保有世帯) | 1割 未満 | 2割 未満 | 3割 未満 | 5割 未満 | 5割 以上 | ぜんぜん ふりむけ ない | 不明 | 平均 割合 |
|-------|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------------------|------|----------|
| 全 国 | 100.0 (4,149) | 2.0 | 11.7 | 13.1 | 18.2 | 30.0 | 10.3 | 14.7 | 3.3 |
| 北 海 道 | (275) | 3.6 | 14.2 | 12.7 | 21.5 | 24.0 | 12.4 | 11.6 | 3.0 |
| 東 北 | (285) | 3.2 | 13.3 | 12.3 | 18.6 | 23.2 | 8.8 | 20.7 | 3.1 |
| 関 東 | (703) | 1.8 | 13.7 | 12.4 | 17.2 | 29.9 | 7.7 | 17.4 | 3.5 |
| 京 浜 | (531) | 2.1 | 11.7 | 16.0 | 16.4 | 27.7 | 14.7 | 11.5 | 3.0 |
| 北 陸 | (296) | 3.4 | 9.1 | 13.5 | 21.3 | 29.1 | 9.1 | 14.5 | 3.4 |
| 中 部 | (537) | 1.3 | 11.0 | 10.4 | 20.7 | 31.1 | 9.7 | 15.8 | 3.4 |
| 近 畿 | (363) | 2.8 | 9.9 | 14.0 | 20.4 | 33.9 | 11.0 | 8.0 | 3.4 |
| 阪 神 | (332) | 2.1 | 11.7 | 11.7 | 16.9 | 31.3 | 12.0 | 14.2 | 3.3 |
| 中 国 | (312) | 0.6 | 11.9 | 14.4 | 15.7 | 34.0 | 13.8 | 9.6 | 3.3 |
| 四 国 | (269) | 1.9 | 7.1 | 16.7 | 14.5 | 35.7 | 5.2 | 19.0 | 3.7 |
| 九 州 | (475) | 1.9 | 11.4 | 13.1 | 17.9 | 28.4 | 6.5 | 20.8 | 3.6 |

(資料) 貯蓄増強中央委員会「貯蓄に関する世論調査」昭和56年

第2-2表

(1) 貯蓄保有額

(単位：%)

| | 総数 (貯蓄保有世帯) | 50 万円 未満 | 100 万円 未満 | 150 万円 未満 | 200 万円 未満 | 300 万円 未満 | 500 万円 未満 | 700 万円 未満 | 1,000 万円 未満 | 1,500 万円 未満 | 1,500 万円 以上 | 不 明 | 平 均 |
|-------|------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|-----------|
| 全 国 | 100.0 (4,149) | 4.2 | 6.5 | 9.2 | 6.3 | 12.8 | 16.4 | 12.2 | 8.5 | 7.1 | 6.5 | 10.4 | 万円 525 |
| 北 海 道 | (275) | 4.4 | 8.4 | 12.0 | 6.5 | 14.9 | 14.5 | 13.5 | 6.2 | 7.6 | 2.5 | 9.5 | 415 |
| 東 北 道 | (285) | 7.0 | 8.1 | 10.9 | 9.5 | 11.6 | 10.2 | 14.0 | 3.5 | 6.3 | 3.2 | 15.8 | 395 |
| 関 東 圏 | (703) | 3.1 | 5.4 | 9.0 | 5.5 | 11.7 | 15.6 | 12.9 | 10.8 | 8.3 | 7.3 | 10.4 | 577 |
| 京 浜 圏 | (531) | 2.1 | 4.9 | 7.9 | 5.3 | 12.1 | 17.5 | 13.4 | 8.7 | 10.0 | 9.4 | 8.9 | 632 |
| 北 陸 道 | (296) | 3.7 | 6.4 | 12.8 | 5.4 | 14.2 | 18.9 | 12.8 | 6.4 | 3.7 | 5.7 | 9.8 | 467 |
| 中 部 圏 | (537) | 4.5 | 5.2 | 9.9 | 5.6 | 13.0 | 17.5 | 12.3 | 8.9 | 7.3 | 7.3 | 8.6 | 547 |
| 近 畿 圏 | (363) | 4.7 | 6.6 | 6.6 | 5.5 | 12.1 | 14.0 | 12.1 | 12.4 | 4.7 | 8.0 | 13.2 | 572 |
| 阪 神 圏 | (332) | 3.9 | 7.2 | 9.0 | 7.2 | 12.3 | 18.4 | 9.6 | 9.9 | 5.4 | 6.9 | 9.9 | 508 |
| 中 国 圏 | (312) | 3.5 | 8.3 | 4.5 | 6.7 | 12.8 | 20.5 | 13.1 | 8.3 | 10.3 | 6.7 | 5.1 | 557 |
| 四 国 圏 | (268) | 6.3 | 8.9 | 7.1 | 5.6 | 13.4 | 15.6 | 11.2 | 7.1 | 5.9 | 4.8 | 14.1 | 468 |
| 九 州 圏 | (475) | 5.9 | 6.5 | 11.6 | 7.2 | 12.2 | 16.4 | 9.3 | 5.9 | 6.1 | 5.1 | 13.9 | 456 |

(2) 貯蓄目標額

(単位：%)

| | 総数 (回 答 世 帯) | 200 万円 未満 | 300 万円 未満 | 500 万円 未満 | 700 万円 未満 | 1,000 万円 未満 | 1,500 万円 未満 | 2,000 万円 未満 | 3,000 万円 未満 | 5,000 万円 未満 | 5,000 万円 以上 | 不 明 | 平 均 |
|-------|--------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------|-------------|
| 全 国 | 100.0 (4,379) | 3.2 | 1.8 | 3.7 | 14.2 | 2.1 | 27.2 | 3.2 | 10.6 | 7.6 | 9.2 | 17.2 | 万円 1,761 |
| 北 海 道 | (296) | 5.1 | 2.7 | 6.1 | 15.2 | 3.4 | 27.4 | 3.4 | 9.1 | 5.7 | 6.8 | 15.2 | 1,544 |
| 東 北 道 | (314) | 5.4 | 3.8 | 10.8 | 17.2 | 3.5 | 19.1 | 2.5 | 5.1 | 7.0 | 7.3 | 18.2 | 1,421 |
| 関 東 圏 | (742) | 1.5 | 0.9 | 3.2 | 14.3 | 1.3 | 26.4 | 2.4 | 10.9 | 10.4 | 11.5 | 17.1 | 1,988 |
| 京 浜 圏 | (539) | 1.7 | 0.7 | 1.5 | 10.2 | 1.9 | 31.4 | 4.8 | 13.0 | 10.0 | 12.1 | 12.8 | 2,075 |
| 北 陸 道 | (306) | 5.2 | 1.3 | 3.6 | 19.3 | 1.6 | 30.7 | 3.9 | 8.8 | 7.2 | 5.2 | 13.1 | 1,471 |
| 中 部 圏 | (560) | 2.7 | 1.8 | 2.7 | 13.9 | 2.0 | 28.9 | 4.5 | 8.8 | 6.6 | 8.9 | 19.3 | 1,702 |
| 近 畿 圏 | (387) | 2.8 | 1.8 | 2.3 | 12.1 | 1.6 | 25.1 | 2.8 | 12.7 | 7.5 | 11.6 | 19.6 | 1,932 |
| 阪 神 圏 | (341) | 2.6 | — | 3.5 | 15.5 | 3.2 | 24.3 | 3.2 | 10.9 | 7.3 | 9.7 | 19.6 | 1,815 |
| 中 国 圏 | (322) | 3.1 | 1.9 | 4.3 | 15.5 | 2.5 | 31.4 | 2.2 | 14.3 | 5.0 | 8.1 | 11.8 | 1,682 |
| 四 国 圏 | (289) | 8.0 | 2.4 | 3.1 | 12.5 | 1.7 | 24.2 | 2.1 | 11.1 | 6.6 | 8.3 | 20.1 | 1,704 |
| 九 州 圏 | (528) | 3.8 | 2.8 | 3.8 | 14.4 | 1.5 | 26.5 | 3.0 | 9.1 | 6.3 | 6.6 | 22.2 | 1,543 |

(資料) 第2-1表に同じ。

北陸地域の所得水準は関東、中部、近畿といった大都市を有する地域に比べ、低位にあるため貯蓄保有額および貯蓄目標額は全国平均をかなり上回っている。(第2-2表) その結果、保有貯蓄の種類、および種類別貯蓄保有額で示される北陸地域の貯蓄保有世帯の資産選択行動には、他の地域と異った特徴が見受けられる。(第2-3表) まず、保有貯蓄の種類をみると、預貯金、生命保険・簡易保険、郵便年金・その他の積立金、財形貯蓄等はほぼ全国レベルにあるのに対し、貸付信託・金銭信託、債券等の金融資産は全国レベルを下回っている。この傾向は種類別貯蓄保有額にも明確にあらわれており、この点から北陸地域の経済主体の金融資産選択行動は、所得水準ひいては貯蓄総額の相対的低位から、収益性よりも流動性や安全性を重視する傾向が強いと推測される。貯蓄を

第2-3表

5 種類別貯蓄保有額

(単位：万円)

| | 貯蓄総額 | 預貯金 | うち定期性 | 貸金付銭信託 | 生簡命易保保険 | 郵そ積便の立年他年金の金 | 債券 | 株式 | 投資信託 | 財形貯蓄 |
|-------|------|-----|-------|--------|---------|--------------|----|----|------|------|
| | | | | | | | | | | |
| 北 海 道 | 415 | 295 | 174 | 12 | 70 | 10 | 4 | 12 | 1 | 11 |
| 北 東 北 | 395 | 268 | 118 | 17 | 64 | 7 | 7 | 21 | 0 | 11 |
| 関 東 東 | 577 | 380 | 253 | 30 | 87 | 10 | 14 | 33 | 3 | 20 |
| 京 浜 浜 | 632 | 362 | 220 | 60 | 89 | 9 | 23 | 56 | 9 | 24 |
| 北 陸 陸 | 467 | 303 | 140 | 19 | 81 | 6 | 10 | 28 | 2 | 18 |
| 中 部 部 | 547 | 357 | 218 | 33 | 80 | 11 | 16 | 32 | 3 | 15 |
| 近 畿 畿 | 572 | 342 | 231 | 42 | 80 | 8 | 29 | 46 | 10 | 15 |
| 阪 神 神 | 508 | 309 | 191 | 41 | 89 | 7 | 16 | 22 | 4 | 20 |
| 中 国 国 | 557 | 374 | 255 | 12 | 101 | 14 | 9 | 32 | 3 | 12 |
| 四 国 国 | 468 | 312 | 148 | 25 | 70 | 8 | 12 | 23 | 5 | 13 |
| 九 州 州 | 456 | 319 | 172 | 15 | 73 | 8 | 9 | 19 | 1 | 12 |

(資料) 第2-1表に同じ。

第2-4表

貯蓄をふやす場合の選択基準

(単位：%)

| | 総 数 (回答世帯) | 収 益 性 | | 安 全 性 | | 流 動 性 | | そ の 他 | 不 明 |
|-------|------------------|----------|----------------|--------------|------------|-----------|-------------------|-------------|--------|
| | | 利く回得りだから | 将がみ来りだのがか値楽ら上し | 元さか金れらがて保い証る | 信安用心配でかきから | 現や金すにいかえら | 少けしで額入がきでれ自るも引出から | | |
| 全 国 | 100.0 (4,251) | 23.7 | 4.0 | 9.4 | 29.3 | 8.5 | 15.9 | 4.1 | 5.1 |
| 北 海 道 | (286) | 20.3 | 1.7 | 11.5 | 29.7 | 11.2 | 16.1 | 5.2 | 4.2 |
| 北 東 北 | (301) | 16.3 | 3.7 | 9.3 | 32.3 | 9.3 | 15.9 | 3.3 | 10.0 |
| 関 東 東 | (729) | 24.7 | 4.4 | 8.5 | 28.3 | 8.8 | 15.1 | 4.7 | 5.6 |
| 京 浜 浜 | (530) | 30.6 | 4.7 | 12.3 | 22.8 | 8.3 | 15.3 | 3.6 | 2.5 |
| 北 陸 陸 | (299) | 22.7 | 2.7 | 3.7 | 33.1 | 9.7 | 18.4 | 4.3 | 5.4 |
| 中 部 部 | (553) | 24.1 | 4.9 | 10.8 | 28.0 | 7.8 | 15.9 | 4.2 | 4.3 |
| 近 畿 畿 | (380) | 25.5 | 3.4 | 7.1 | 30.0 | 8.4 | 18.2 | 4.2 | 3.2 |
| 阪 神 神 | (319) | 25.7 | 7.5 | 11.3 | 27.0 | 6.6 | 12.9 | 4.1 | 5.0 |
| 中 国 国 | (316) | 21.2 | 3.2 | 9.5 | 32.0 | 10.8 | 15.8 | 4.7 | 2.8 |
| 四 国 国 | (278) | 24.8 | 2.5 | 6.5 | 29.5 | 8.3 | 14.0 | 2.9 | 11.5 |
| 九 州 州 | (492) | 17.5 | 2.0 | 8.5 | 34.6 | 6.7 | 19.1 | 4.3 | 7.3 |

(資料) 第2-1表に同じ。

ふやす場合の選択基準をみると(第2-4表)、北陸地域では「利回りがよく得だから」、「将来の値上がりを楽しみだから」といった収益性の選好が全国レベルよりも低いのに対し、「信用できて安心だから」といった安全性、「現金にかえやすいから」また「少額でも預け入引き出しが自由にできるから」といった流動性に対する選好が強い。

このような北陸地域の金融資産選択行動は所得水準の相対的低位のみならず、北陸地域の経済主体の貯蓄目的が、「土地・建物の買入れや新增改築・修理のため」、また「自動車・家具などまとまった金額の物品を購入するため」とする割合が全国でトップであることにも密接に関連していると思われる。

第2—5表 北陸地域の貯蓄保有額の種別構成比の推移 (単位：%)

| | 預貯金 | | 貸付信託 金銭信託 | 生命保険 簡易保険 | 郵便年金 その他積立年金 | 債券株式 | その他 |
|-------|------|-----------|--------------|--------------|-----------------|------|-----|
| | | うち 定期性 | | | | | |
| 52年 | 64.1 | 42.9 | 2.6 | 23.8 | 2.3 | 6.2 | 1.0 |
| 55年 | 68.3 | 42.3 | 4.4 | 16.1 | 0.6 | 6.5 | 4.0 |
| 56年 | 64.9 | 30.0 | 4.1 | 17.3 | 1.3 | 8.1 | 4.3 |
| 56年全国 | 64.0 | 38.7 | 5.7 | 15.6 | 2.0 | 9.0 | 3.8 |

(資料) 第2—1表に同じ。

北陸地域の貯蓄保有額の種別構成比の推移(第2—5表)をみると、定期性預貯金が減少する反面貸付信託、金銭信託、債券・様式といった収益性の高い資産への選好が強まっていることがわかる。これは近年、家計の利回り重視の姿勢が強まっているなかで、昨年来の国債、貸付信託等の利回り低下幅が預貯金金利に比較して小幅となっていることを背景としているものとみられる。ただし、全国と比較すると金利選好は弱いといえよう。

なお、北陸地域における預貯金の預け先としては引き続き銀行(79.5%)と郵便局(57.7%)をあげる世帯が多く、次いで信用金庫(25.3%)、農・漁協(24.2%)、相互銀行(22.2%)などの順となっている。全国平均と比較すると、郵便局(63.8%)をあげる世帯が相対的に少なく、銀行、相互銀行、農・漁協をあげる世帯が多いことは、北陸地域においては、郵便貯金と地方銀行、中小金融機関預金との競合が激しいと考えられる。

そこで、次の金融機関の預貯金、貸出の構成を中心に地域的金融構造の差異を明らかにしよう。

3. 金融機関構造

第1節で指摘したように、金利の地域的格差に代表されるような地域の金融の特殊性を明らかにする上で、その地域の金融機関の構成や経営状況を考察する必要がある。

(1) 北陸地域の金融機関の預貯金・貸出状況

第3—1表は昭和56年3月末現在の地域別各種金融機関預貯金・貸出状況である。

(イ) 預貯金

北陸地域の預貯金の金融機関別構成比をみると、地方銀行のウェイトが沖縄を除けば、38%と全国で最も大きく、逆に都市銀行のそれは最も小さくなっている。北陸地域に本店を有する地方銀行は、北陸銀行、北国銀行、福井銀行、富山銀行の4行であるが、この中でも北陸銀行の預金シェアは圧倒的に高く、残高も他の地方銀行3行の合計よりも大きい。また、農協、中小金融機関(相互銀行、信用金庫、信用組合)のシェアも、他の地域に比べ高いことが特徴としてあげられる。

(単位：億円、%)

第3—1表 地域別各種金融機関預貯金・貸出の状況 (昭和56年3月末現在)

| | 北海道 | 東北 | 関東 | 東京都 | 甲信越 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 大阪 | 中国 | 四国 | 九州 | 福岡 | 沖縄 | 合計 |
|--------|--------------------|--------------------|----------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------------------|
| 預貯金 | 116,267 (100.0) | 170,018 (100.0) | 1,490,381 (100.0) | 997,919 (100.0) | 121,848 (100.0) | 79,723 (100.0) | 372,598 (100.0) | 726,960 (100.0) | 405,978 (100.0) | 180,488 (100.0) | 105,415 (100.0) | 247,884 (100.0) | 106,152 (100.0) | 14,585 (100.0) | 3,626,167 (100.0) |
| 地方銀行 | 15,883 (13.6) | 58,481 (34.4) | 165,151 (11.1) | 51,189 (5.1) | 36,975 (30.3) | 30,272 (38.0) | 63,589 (17.1) | 76,812 (10.6) | 30,244 (7.4) | 51,879 (28.7) | 34,402 (32.6) | 68,949 (27.8) | 24,143 (22.7) | 7,474 (51.2) | 609,867 (16.8) |
| 都市銀行 | 23,979 (20.6) | 5,545 (3.3) | 527,061 (35.4) | 424,907 (42.6) | 5,144 (4.2) | 1,883 (2.4) | 69,600 (18.7) | 227,211 (31.3) | 159,375 (39.3) | 8,653 (4.8) | 2,535 (2.4) | 12,518 (5.0) | 8,851 (8.3) | 0 (0) | 884,129 (24.4) |
| 中小金融機関 | 33,589 (28.9) | 42,106 (24.8) | 212,078 (14.2) | 125,674 (12.6) | 28,945 (23.8) | 18,751 (23.5) | 89,996 (24.2) | 148,937 (20.5) | 66,600 (16.4) | 41,252 (22.9) | 24,956 (23.7) | 61,175 (24.7) | 28,804 (27.1) | 1,942 (13.3) | 703,727 (19.4) |
| 農協 | 9,980 (8.6) | 20,805 (12.2) | 52,736 (3.5) | 9,068 (0.9) | 18,999 (15.6) | 10,691 (13.4) | 39,119 (10.5) | 43,190 (5.9) | 11,649 (2.9) | 24,661 (13.7) | 17,807 (16.9) | 27,876 (11.2) | 8,411 (7.9) | 2,591 (17.8) | 268,455 (7.4) |
| 郵便 | 25,319 (21.8) | 36,836 (21.7) | 187,388 (12.6) | 73,737 (7.4) | 27,438 (22.5) | 14,965 (18.8) | 81,755 (21.9) | 115,141 (15.8) | 47,693 (11.7) | 44,770 (24.8) | 21,808 (20.7) | 62,383 (25.2) | 23,713 (22.3) | 1,695 (11.6) | 619,498 (17.1) |
| 貸出 | 68,469 (100.0) | 100,284 (100.0) | 1,031,423 (100.0) | 827,024 (100.0) | 60,271 (100.0) | 44,416 (100.0) | 188,924 (100.0) | 453,272 (100.0) | 299,175 (100.0) | 92,156 (100.0) | 52,359 (100.0) | 135,844 (100.0) | 63,781 (100.0) | 9,053 (100.0) | 2,236,476 (100.0) |
| 地方銀行 | 11,808 (17.2) | 42,138 (42.0) | 126,069 (12.2) | 60,404 (7.3) | 23,805 (39.5) | 21,047 (47.4) | 45,044 (23.8) | 64,111 (14.1) | 30,748 (10.3) | 35,759 (31.8) | 22,422 (42.8) | 49,419 (36.4) | 17,628 (27.6) | 5,405 (59.7) | 447,027 (20.0) |
| 都市銀行 | 16,456 (24.0) | 4,445 (4.4) | 449,446 (43.6) | 396,409 (47.9) | 3,095 (5.1) | 1,584 (3.6) | 46,961 (24.9) | 186,529 (41.2) | 143,906 (48.1) | 6,453 (7.1) | 1,985 (3.8) | 10,971 (8.1) | 8,206 (12.9) | 0 (0.0) | 727,925 (32.5) |
| 中小金融機関 | 25,883 (37.8) | 32,627 (32.5) | 171,378 (16.6) | 109,293 (13.2) | 23,065 (38.3) | 14,040 (31.6) | 65,908 (34.9) | 118,290 (26.1) | 57,314 (19.2) | 31,901 (34.6) | 18,662 (35.6) | 47,564 (35.0) | 22,415 (35.1) | 1,554 (17.2) | 550,872 (24.6) |
| 農協 | 7,922 (11.6) | 14,809 (14.8) | 20,035 (1.9) | 4,689 (0.6) | 9,215 (15.3) | 4,119 (9.3) | 12,744 (6.7) | 11,446 (2.5) | 3,026 (1.0) | 10,025 (10.9) | 6,235 (11.9) | 15,731 (11.6) | 4,011 (6.3) | 1,302 (14.4) | 113,583 (5.1) |
| その他 | 6,400 (9.3) | 6,270 (6.3) | 264,495 (25.6) | 256,229 (31.0) | 1,091 (1.8) | 3,626 (8.2) | 18,262 (9.7) | 72,896 (16.1) | 64,181 (21.5) | 8,018 (8.7) | 3,055 (5.8) | 12,159 (9.0) | 11,521 (18.1) | 792 (8.7) | 397,060 (17.89) |
| 預貸率 | 58.9% | 59.0 | 69.2 | 82.9 | 49.5 | 55.7 | 50.7 | 62.4 | 73.7 | 51.1 | 49.7 | 54.8 | 60.1 | 62.1 | |
| 地銀 | 74.3 | 72.0 | 76.3 | 118.0 | 64.4 | 69.5 | 70.8 | 83.5 | 101.7 | 68.9 | 65.2 | 71.7 | 73.0 | 72.3 | |
| 都市銀 | 68.6 | 80.2 | 85.3 | 93.3 | 60.2 | 84.1 | 67.5 | 82.1 | 90.3 | 74.6 | 78.7 | 87.6 | 92.7 | — | |
| 中小機関 | 77.0 | 77.5 | 80.8 | 87.0 | 79.7 | 74.9 | 73.2 | 79.4 | 86.1 | 77.3 | 74.8 | 77.8 | 80.0 | 80.0 | |
| 農協 | 79.4 | 71.2 | 38.0 | 51.7 | 48.5 | 38.5 | 32.6 | 26.5 | 26.0 | 40.7 | 35.0 | 56.4 | 47.7 | 50.3 | |

(資料) 全国地方銀行協会金融銀行諸統計, 1981.

第3—2表 北陸3県の預貯金残高構成比の推移

下段：構成比（地域、全国）

（単位 億円）

| 業態別 都道府県別 | 地方銀行 | 都市銀行 | 信託銀行 (銀行勘定) | 全国銀行 信託勘定 | 長期信用 銀行 | 相互銀行 (含掛金) | 信用金庫 | 信用組合 | 農業協同 組合 | 郵便 貯金 (7月末) | 計 |
|--------------|------------|-----------|----------------|--------------|------------|---------------|------------|-----------|------------|-------------------|--------|
| | (北陸) | 21,935 | 1,494 | 177 | 1,797 | 359 | 4,068 | 8,135 | 969 | 7,785 | 8,758 |
| (北陸) | 39.5 : 4.9 | 2.7 : 0.7 | 0.3 : 0.4 | 3.2 : 0.5 | 0.7 : 1.2 | 7.3 : 2.0 | 14.7 : 3.3 | 1.8 : 1.5 | 14.0 : 4.0 | 15.8 : 2.3 | |
| 53 年度末 | 富山 7,713 | 544 | 44 | 462 | 202 | 1,828 | 2,905 | 390 | 3,345 | 2,727 | 20,160 |
| 富山 | 38.3 : 1.7 | 2.7 : 0.1 | 0.2 : 0.1 | 2.3 : 0.1 | 1.0 : 0.7 | 9.1 : 0.9 | 14.4 : 1.2 | 1.9 : 0.6 | 16.6 : 1.7 | 13.5 : 0.7 | |
| 石川 8,137 | 646 | 133 | 1,335 | 157 | 1,260 | 3,036 | 378 | 2,361 | 3,225 | 20,668 | |
| 石川 | 39.4 : 1.8 | 3.1 : 0.1 | 0.6 : 0.3 | 6.5 : 0.4 | 0.8 : 0.5 | 6.1 : 0.6 | 14.7 : 1.2 | 1.8 : 0.6 | 11.4 : 1.2 | 15.6 : 0.9 | |
| 福井 6,085 | 304 | | | | | 980 | 2,194 | 201 | 2,079 | 2,806 | 14,649 |
| 福井 | 41.5 : 1.4 | 2.1 : 0 | | | | 6.7 : 0.5 | 15.0 : 0.9 | 1.4 : 0.3 | 14.2 : 1.1 | 19.1 : 0.7 | |
| (北陸) | 25,042 | 1,647 | 188 | 2,074 | 414 | 4,622 | 9,284 | 1,078 | 8,657 | 10,556 | 63,562 |
| (北陸) | 39.4 : 5.0 | 2.6 : 0.2 | 0.3 : 0.4 | 3.3 : 0.6 | 0.6 : 1.3 | 7.3 : 2.1 | 14.6 : 3.4 | 1.7 : 1.5 | 13.6 : 4.0 | 16.6 : 2.3 | |
| 54 年度末 | 富山 8,834 | 570 | 52 | 568 | 237 | 2,018 | 3,260 | 444 | 3,727 | 3,315 | 23,025 |
| 富山 | 38.4 : 1.8 | 2.5 : 0.1 | 0.2 : 0.1 | 2.5 : 0.2 | 1.0 : 0.7 | 8.8 : 0.9 | 14.1 : 1.2 | 1.9 : 0.6 | 16.2 : 1.7 | 14.4 : 0.7 | |
| 石川 9,250 | 737 | 132 | 1,482 | 177 | 1,496 | 3,513 | 409 | 2,621 | 3,904 | 23,721 | |
| 石川 | 39.0 : 1.8 | 3.1 : 0.1 | 0.6 : 0.3 | 6.2 : 0.4 | 0.7 : 0.6 | 6.3 : 0.7 | 14.8 : 1.3 | 1.7 : 0.6 | 11.1 : 1.2 | 16.5 : 0.9 | |
| 福井 6,958 | 340 | 4 | 24 | | 1,108 | 2,511 | 225 | 2,309 | 3,337 | 16,816 | |
| 福井 | 41.4 : 1.4 | 2.0 : 0 | 0 : 0 | 0.2 : 0 | | 6.6 : 0.5 | 14.9 : 0.9 | 1.3 : 0.3 | 13.7 : 1.1 | 19.9 : 0.7 | |
| (北陸) | 28,504 | 1,742 | 195 | 2,336 | 451 | 5,262 | 10,646 | 1,205 | 9,616 | 12,271 | 72,228 |
| (北陸) | 39.5 : 5.0 | 2.4 : 0.2 | 0.3 : 0.4 | 3.2 : 0.6 | 0.6 : 1.2 | 7.3 : 2.1 | 14.7 : 3.4 | 1.7 : 1.5 | 13.3 : 3.9 | 17.0 : 2.3 | |
| 55 年度末 | 富山 10,099 | 619 | 50 | 665 | 263 | 2,343 | 3,689 | 500 | 4,129 | 3,858 | 26,215 |
| 富山 | 38.5 : 1.8 | 2.4 : 0.1 | 0.2 : 0.1 | 2.5 : 0.2 | 1.0 : 0.7 | 8.9 : 0.9 | 14.1 : 1.2 | 1.9 : 0.6 | 15.8 : 1.7 | 14.7 : 0.7 | |
| 石川 10,508 | 759 | 139 | 1,613 | 188 | 1,672 | 4,082 | 455 | 2,944 | 4,571 | 26,931 | |
| 石川 | 39.0 : 1.8 | 2.8 : 0.1 | 0.5 : 0.3 | 6.0 : 0.4 | 0.7 : 0.5 | 6.2 : 0.7 | 15.2 : 1.3 | 1.7 : 0.6 | 10.9 : 1.2 | 17.0 : 0.9 | |
| 福井 7,897 | 364 | 6 | 58 | | 1,247 | 2,875 | 250 | 2,543 | 3,842 | 19,082 | |
| 福井 | 41.4 : 1.4 | 1.9 : 0 | 0 : 0 | 0.3 : 0 | | 6.5 : 0.5 | 15.1 : 0.9 | 1.3 : 0.3 | 13.4 : 1.0 | 20.1 : 0.7 | |
| (北陸) | 30,272 | 1,883 | 230 | 2,516 | 415 | 5,632 | 11,788 | 1,331 | 10,691 | 14,965 | 79,723 |
| (北陸) | 38.0 : 5.0 | 2.4 : 0.3 | 0.3 : 0.4 | 3.1 : 0.6 | 0.5 : 1.0 | 7.1 : 2.1 | 14.8 : 3.4 | 1.6 : 1.5 | 13.4 : 4.0 | 18.8 : 2.4 | |
| 56 年度末 | 富山 10,705 | 679 | 59 | 728 | 237 | 2,485 | 4,001 | 562 | 4,552 | 4,793 | 28,801 |
| 富山 | 37.2 : 1.8 | 2.4 : 0.1 | 0.2 : 0.1 | 2.5 : 0.2 | 0.8 : 0.6 | 8.6 : 0.9 | 13.9 : 1.2 | 2.0 : 0.6 | 15.8 : 1.7 | 16.6 : 0.8 | |
| 石川 11,162 | 805 | 160 | 1,696 | 178 | 1,790 | 4,551 | 499 | 3,273 | 5,538 | 29,652 | |
| 石川 | 37.7 : 1.8 | 2.7 : 0.1 | 0.5 : 0.3 | 5.7 : 0.4 | 0.6 : 0.4 | 6.0 : 0.7 | 15.4 : 1.3 | 1.7 : 0.6 | 11.0 : 1.2 | 18.7 : 0.9 | |
| 福井 8,405 | 399 | 11 | 92 | | 1,357 | 3,236 | 270 | 2,866 | 4,634 | 21,270 | |
| 福井 | 39.5 : 1.4 | 1.9 : 0.1 | 0 : 0 | 0.4 : 0 | | 6.4 : 0.5 | 15.2 : 0.9 | 1.3 : 0.3 | 13.5 : 1.1 | 21.8 : 0.7 | |

(資料) 第3—1表に同じ。

第3-2表は北陸3県の預貯金残高構成比の推移を昭和53年から56年にわたる期間について示したものである。この期間、郵便貯金のシェアが15.8%から18.8%と着実に増大したこと、都市銀行のシェアが2.7%から2.4%、地方銀行のシェアが39.5%から38%へと若干減の傾向がみられる。各種金融機関の預貯金シェアを富山、石川、福井3県についてそれぞれ考察すると、その構成比に若干の差異がみられる。3県を比較すると、地方銀行および郵便貯金のシェアは福井県が最も高く、次いで石川県、富山県の順になっている。また、富山県では農協と相互銀行のシェアが大であるのに対し、石川県では信用金庫と信託銀行が相対的に強いという関係がみられる。このような差異は、主に各県の経済主体の金融資産選択行動の違いや、各金融機関の取引先構造の違いによるものと考えられる。

しかしながら、この3県における各種金融機関の預貯金構成の相違は、北陸地域と他の地域のそれを比較した場合に比べ、はるかに小さく、3県は北陸地域として一括できる類似性を有している。そこで、次にこの点を明らかにするため各地域の金融機関構造の類型化を行ってみるために、先の2つの表をもとに主成分分析を行った。その結果は、第3-3表のようになった。

第3-3表 預貯金に関する主成分分析結果

《コユウチ “コユウベクトル” キヨリツ》

| コユウチ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----------|---------|---------|---------|-------------|-------------|
| キヨリツ | 4.39807 | .51721 | .07272 | 8.11974E-03 | 3.87650E-03 |
| ルイセキキヨリツ | .87961 | .10344 | .01454 | 1.62395E-03 | 7.75301E-04 |
| コユウベクトル | .87961 | .98305 | .99760 | .99922 | 1.00000 |
| 1 | .45799 | -.23123 | .82574 | .04660 | .22966 |
| 2 | .40903 | .71099 | .06282 | -.52454 | -.21929 |
| 3 | .46818 | .20130 | -.41296 | .29868 | .69320 |
| 4 | .42155 | -.63229 | -.35752 | -.53646 | -.08294 |
| 5 | .47542 | -.02654 | -.12582 | .58794 | -.64168 |

《インシフカリヨウ》

| | シユセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|----------|----------|----------|----------|-------------|--------------|
| 1 CHIGIN | .96048 | -.16629 | .22268 | 4.19913E-03 | .01429 |
| 2 TOGIN | .85780 | .51132 | .01694 | -.04726 | -.01365 |
| 3 CHUSHO | .98186 | .14477 | -.11137 | .02691 | .04315 |
| 4 NOKYO | .88406 | -.45473 | -.09641 | -.04834 | -5.16423E-03 |
| 5 YUCHO | .99703 | -.01908 | -.03393 | .05297 | -.03995 |

《ルイセキキヨ》

| | シコセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 CHIGIN | .92253 | .95018 | .99977 | .99979 | 1.00000 |
| 2 TOGIN | .73583 | .99729 | .99758 | .99981 | 1.00000 |
| 3 CHUSHO | .96405 | .98501 | .99741 | .99813 | 1.00000 |
| 4 NOKYO | .78156 | .98834 | .99763 | .99997 | 1.00000 |
| 5 YUCHO | .99408 | .99444 | .99559 | .99840 | 1.00000 |

《シユセイブンスコア》

| | シユセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|-------------|----------|----------|----------|--------------|---------------|
| 1 Hokaido | -1.10189 | .16722 | -.22392 | .09873 | -.02330 |
| 2 Tohoku | -.15535 | -.60223 | .33777 | 9.71557 E-03 | .14488 |
| 3 Kanto | 6.19471 | .22911 | .47911 | .01109 | -.09000 |
| 4 Tokyo | 1.53445 | .25991 | -.06580 | -.07136 | .09576 |
| 5 Koshinetu | -.66225 | -.43898 | .03579 | -.13319 | -4.60842 E-03 |
| 6 Hokuriku | -1.18829 | -.09273 | .19243 | -.03964 | .05053 |
| 7 Toyama | -1.79127 | .24259 | .02635 | -.02527 | -.03471 |
| 8 Ishikawa | -1.81560 | .29295 | .06611 | .02845 | -.03752 |
| 9 Fukui | -1.88575 | .31850 | .03269 | .01973 | -.06270 |
| 10 Tokai | 1.41042 | -.97717 | -.41912 | -.05060 | -.04201 |
| 11 Kinki | 2.88769 | -.34436 | -.67506 | .01614 | .05574 |
| 12 Osaka | -.05224 | .71202 | -.19433 | .05730 | -.03697 |
| 13 Chugoku | -.04674 | -.71786 | .09076 | -.05313 | -.03612 |
| 14 Shikoku | -.82069 | -.39569 | .05074 | -.17464 | .01774 |
| 15 Kyushu | .59107 | -.87934 | .19577 | .15802 | .04522 |
| 16 Fukuoka | -1.14014 | .10066 | .02322 | .16986 | .01987 |
| 17 Okinawa | -1.95811 | .32541 | .04745 | -.02121 | -.06178 |

まず、累積寄与率をみると、第1主成分88%、第2主成分98.3%であるので、第2主成分までを分析の対象としよう。変数として、地方銀行、都市銀行、中小金融機関（相互銀行、信用金庫、信用組合）、農協、郵便局をとった。5つの金融機関の第1主成分と第2主成分の因子負荷量を抜き出すと次のようになった。

| | 第1主成分 | 第2主成分 |
|-----------|---------|----------|
| 1. 地方銀行 | 0.96048 | -1.6629 |
| 2. 都市銀行 | 0.85780 | 0.51132 |
| 3. 中小金融機関 | 0.98186 | 0.14477 |
| 4. 農 協 | 0.88406 | -0.45473 |
| 5. 郵便局 | 0.99703 | -0.1908 |

5つの金融機関について、第1主成分は因子負荷量がすべて正の値をとっているため、第1主成分は地域における預貯金吸収能力をあらわすものと考えられ、また第2主成分は都市銀行と中小金融機関の因子負荷量の符号と他の金融機関のそれとは逆であるから、第2主成分は預貯金の吸収に関する各種金融機関の地域特性をあらわしていると考えられる。

第1主成分が最も大きいのは郵便局で、次いで中小金融機関、地方銀行を続ける。このことは、これらの金融機関が地域の預貯金の吸収に大きな役割を果たしていることを示している。第2主成分は都市銀行と中小金融機関が正で都市銀行の因子負荷量が大きく、他方、農協、地方銀行、郵便局が負であり、農協の因子負荷量の絶対値は大きく、第2主成分は都市では都市銀行、中小金融機関が、農村では農協、地方銀行が大きな役割を果たしていると考えられる。

次に、サンプルごとに第1主成分と第2主成分スコアをみると次のようになった。

| | 第1主成分 | 第2主成分 |
|--------|----------|----------|
| 1. 北海道 | -1.10189 | 0.16722 |
| 2. 東北 | -0.5535 | -0.60223 |
| 3. 関東 | 6.19471 | 0.22911 |
| 4. 東京 | 1.53445 | 2.05991 |
| 5. 甲信越 | -0.66225 | -0.43898 |
| 6. 北陸 | -1.18829 | -0.09273 |
| 7. 富山 | -1.79127 | 0.24259 |
| 8. 石川 | -1.81560 | 0.29295 |
| 9. 福井 | -1.88575 | 0.31850 |
| 10. 東海 | 1.41042 | -0.97717 |
| 11. 近畿 | 2.88769 | -0.34436 |
| 12. 大阪 | -0.5224 | 0.71202 |
| 13. 中国 | -0.4674 | -0.71786 |
| 14. 四国 | -0.82069 | -0.39569 |
| 15. 九州 | 0.59107 | -0.87934 |
| 16. 福岡 | -1.14014 | 0.10066 |
| 17. 沖縄 | -1.95811 | 0.32541 |

この主成分スコアの大きさと符号の類似性をグループ化することにより、各地域を類似化できる。

まず、第1に北陸3県（富山、石川、福井）は預貯金に関し、ほぼ同じパターンを有しており、北陸地域としてグループ化することができることを示している。また、関東、東京、近畿、東海は都市銀行や中小金融機関が強い都市圏の金融構造をもつ地域として、また、東北、甲信越、北陸、中国、四国は農村型として、また、北海道、福岡は地方都市型として類型化できそうである。

(ロ) 貸出金

地域別各種金融機関別貸出金の残高・構成比をみると（第3—1表）、北陸地域では、地方銀行の貸出シェアが47.7%と圧倒的に大きく、沖縄を除けば全国で最も大きい。これに対し、都市銀行の貸出シェアは3.6%と最も小さい。地方銀行に次いで、貸出シェアの大きいのは中小金融機関で、両者を合計すれば、79%にもものぼる。

次に、北陸3県における貸出金の残高・構成比を昭和53年から56年までの期間にわたる推移をみると、（第3—4表）長期信用銀行、農協の貸出シェアが若干低下傾向がみられるのに対し、信用金庫が着実にシェアを伸ばしている。他の金融機関の貸出シェアには変動がほとんど見受けられない。また、各種金融機関の貸出シェアを3県それぞれについてみると、地方銀行のシェアが最も大きいのは、福井県次いで石川県、富山県の順となっている。地方銀行以外では、富山県では相互銀行の貸出シェアが他の2県に比べ大きく、また石川県では長期信用銀行、信託銀行、福井県では信用金庫の貸出シェアが他の2県に比して大きいという特徴が見受けられる。

次に、預貯金の場合と同様に、貸出金の金融機関別構成の類型化を行うために、主成分分析を行

第3—4表 北陸3県の各種金融機関別貸出残高構成比

下段：構成比（地域，全国）

（単位 億円）

| 都道府県別 | 業態別 | 地方銀行 | 都市銀行 | 信託銀行 (銀行勘定) | 全国銀行 信託勘定 | 長期信用 銀行 | 相互銀行 (含掛金) | 信用金庫 | 信用組合 | 農業協同 組合 | 計 |
|-------|-------|------------|-----------|----------------|--------------|------------|---------------|------------|-----------|------------|--------|
| | | | | | | | | | | | |
| 53年 | (北 陸) | 16,355 | 1,224 | 218 | 635 | 2,243 | 2,943 | 6,402 | 685 | 3,604 | 34,309 |
| | (北 陸) | 47.7 : 4.7 | 3.6 : 0.2 | 0.6 : 0.6 | 1.8 : 0.4 | 6.5 : 1.7 | 8.6 : 1.8 | 18.7 : 3.3 | 2.0 : 1.4 | 10.5 : 3.9 | |
| | 富 山 | 5,599 | 460 | 36 | 183 | 915 | 1,426 | 2,298 | 307 | 1,487 | 12,711 |
| | 富 山 | 44.1 : 1.6 | 3.6 : 0.1 | 0.3 : 0.1 | 1.4 : 0.1 | 7.2 : 0.7 | 11.2 : 0.9 | 18.1 : 1.2 | 2.4 : 0.6 | 11.7 : 1.6 | |
| | 石 川 | 6,541 | 576 | 182 | 452 | 1,328 | 822 | 2,483 | 235 | 1,271 | 13,890 |
| | 石 川 | 47.1 : 1.9 | 4.1 : 0.1 | 1.3 : 0.5 | 3.3 : 0.3 | 9.6 : 1.0 | 5.9 : 0.5 | 17.9 : 1.3 | 1.7 : 0.5 | 9.1 : 1.4 | |
| | 福 井 | 4,215 | 188 | | | | 695 | 1,621 | 143 | 846 | 7,708 |
| 54年 | (北 陸) | 17,944 | 1,430 | 228 | 710 | 2,397 | 3,442 | 7,110 | 737 | 3,626 | 37,624 |
| | (北 陸) | 47.7 : 4.7 | 3.8 : 0.2 | 0.6 : 0.5 | 1.9 : 0.4 | 6.4 : 1.6 | 9.1 : 2.0 | 18.9 : 3.2 | 2.0 : 1.3 | 9.6 : 3.8 | |
| | 富 山 | 6,152 | 532 | 53 | 196 | 954 | 1,578 | 2,462 | 340 | 1,469 | 13,736 |
| | 富 山 | 44.8 : 1.6 | 3.9 : 0.1 | 0.4 : 0.1 | 1.4 : 0.1 | 6.9 : 0.6 | 11.5 : 0.9 | 17.9 : 1.1 | 2.5 : 0.6 | 10.7 : 1.5 | |
| | 石 川 | 7,241 | 672 | 173 | 502 | 1,443 | 1,042 | 2,831 | 248 | 1,289 | 15,441 |
| | 石 川 | 46.9 : 1.9 | 4.4 : 0.1 | 1.1 : 0.4 | 3.3 : 0.3 | 9.3 : 1.0 | 6.8 : 0.6 | 18.3 : 1.3 | 1.6 : 0.4 | 8.3 : 1.4 | |
| | 福 井 | 4,551 | 226 | 2 | 12 | | 822 | 1,817 | 149 | 868 | 8,447 |
| 55年 | (北 陸) | 19,389 | 1,497 | 208 | 744 | 2,527 | 3,851 | 8,311 | 831 | 3,861 | 41,219 |
| | (北 陸) | 47.0 : 4.7 | 3.6 : 0.2 | 0.5 : 0.4 | 1.8 : 0.4 | 6.1 : 1.6 | 9.4 : 2.0 | 20.2 : 3.5 | 2.0 : 1.3 | 9.4 : 3.7 | |
| | 富 山 | 6,662 | 568 | 54 | 212 | 1,042 | 1,749 | 2,848 | 391 | 1,581 | 15,107 |
| | 富 山 | 44.1 : 1.6 | 3.8 : 0.1 | 0.3 : 0.1 | 1.4 : 0.1 | 6.9 : 0.7 | 11.6 : 0.9 | 18.8 : 1.2 | 2.6 : 0.6 | 10.5 : 1.5 | |
| | 石 川 | 7,790 | 688 | 149 | 515 | 1,485 | 1,190 | 3,334 | 278 | 1,369 | 16,798 |
| | 石 川 | 46.4 : 1.9 | 4.1 : 0.1 | 0.9 : 0.3 | 3.1 : 0.3 | 8.8 : 0.9 | 7.1 : 0.6 | 19.8 : 1.4 | 1.7 : 0.4 | 8.1 : 1.3 | |
| | 福 井 | 4,937 | 241 | 5 | 17 | | 912 | 2,129 | 162 | 911 | 9,314 |
| 56年 | (北 陸) | 21,047 | 1,584 | 202 | 800 | 2,624 | 4,171 | 8,989 | 880 | 4,119 | 44,416 |
| | (北 陸) | 47.4 : 4.7 | 3.6 : 0.2 | 0.4 : 0.4 | 1.8 : 0.4 | 5.9 : 1.6 | 9.4 : 1.9 | 20.2 : 3.4 | 2.0 : 1.3 | 9.3 : 3.6 | |
| | 富 山 | 7,243 | 603 | 49 | 226 | 1,101 | 1,865 | 3,018 | 406 | 1,628 | 16,139 |
| | 富 山 | 44.9 : 1.6 | 3.7 : 0.1 | 0.3 : 0.1 | 1.4 : 0.1 | 6.8 : 0.7 | 11.6 : 0.9 | 18.7 : 1.1 | 2.5 : 0.6 | 10.1 : 1.4 | |
| | 石 川 | 8,469 | 710 | 144 | 552 | 1,523 | 1,316 | 3,649 | 307 | 1,474 | 18,164 |
| | 石 川 | 46.6 : 1.9 | 3.9 : 0.1 | 0.8 : 0.3 | 3.0 : 0.3 | 8.4 : 0.9 | 7.3 : 0.6 | 20.1 : 1.4 | 1.7 : 0.5 | 8.2 : 1.3 | |
| | 福 井 | 5,335 | 271 | 9 | 22 | | 990 | 2,322 | 167 | 997 | 10,113 |
| | 福 井 | 52.7 : 1.2 | 2.7 : 0 | 0.1 : 0 | 0.2 : 0 | | 9.8 : 0.4 | 23.0 : 0.9 | 1.6 : 0.2 | 9.9 : 0.9 | |

(資料) 第3—1表に同じ。

第3-5表 貸出の関する主成分分析結果

《コユウチ ヌコユウベクトル ヌキヨリツ》

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----------|---------|--------------|---------|-------------|-------------|
| コユウチ | 4.06218 | .85276 | .06301 | .02018 | 1.86002E-03 |
| キヨリツ | .81243 | .17055 | .01260 | 4.03715E-03 | 3.72003E-04 |
| ルイセキキヨリツ | .81243 | .98298 | .99559 | .99962 | 1.00000 |
| コユウベクトル | | | | | |
| 1 | .48242 | .21664 | .03303 | .84795 | .01459 |
| 2 | .46287 | -.38715 | -.03955 | -.17625 | .77667 |
| 3 | .48665 | -5.55405E-03 | .75477 | -.29931 | -.32228 |
| 4 | .33371 | .79442 | -.32060 | -.38195 | .09410 |
| 5 | .46256 | -.41478 | -.56997 | -.12012 | -.53276 |

《インシフカリヨウ》

| | シユセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|----------|----------|--------------|--------------|----------|-------------|
| 1 CHIGIN | .97231 | .20006 | 8.29284E-03 | .12047 | 6.29513E-04 |
| 2 TOGIN | .93291 | -.35751 | -9.92986E-03 | -.02504 | .03349 |
| 3 GHUSHO | .98085 | -5.12890E-03 | .18946 | -.04252 | -.01389 |
| 4 NOKYO | .67259 | .73360 | -.08048 | -.05426 | 4.05860E-03 |
| 5 SONOTA | .91213 | -.38303 | -.14308 | -.01706 | -.02297 |

《ルイセキキヨ》

| | シユセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 CHIGIN | .94539 | .98541 | .98548 | 1.00000 | 1.00000 |
| 2 TOGIN | .87033 | .99815 | .99825 | .99887 | 1.00000 |
| 3 CHUSHO | .96207 | .96210 | .99799 | .99980 | 1.00000 |
| 4 NOKYO | .45238 | .99056 | .99703 | .99998 | 1.00000 |
| 5 SONTA | .83199 | .97870 | .99918 | .99947 | 1.00000 |

《シユセイブンスコア》

| | シユセイブン 1 | シユセイブン 2 | シユセイブン 3 | シユセイブン 4 | シユセイブン 5 |
|--------------|--------------|----------|--------------|-------------|--------------|
| 1 Hokaido | -.91175 | .22692 | -.07049 | -.39800 | .02904 |
| 2 Tohoku | -2.37078E-03 | 1.42256 | -.30797 | -.03155 | .04500 |
| 3 Kanto | 5.89207 | .24112 | -.16935 | .17770 | .04090 |
| 4 Tokyo | 3.10809 | -2.14383 | -.30519 | -.17749 | -.05816 |
| 5 Koshinetsu | -.74707 | .55321 | -.13430 | -.10581 | .03520 |
| 6 Hokuriku | -1.16880 | -.17385 | -.01472 | .20870 | -.01203 |
| 7 Toyama | -1.63712 | -.60001 | -.01514 | .04648 | 8.83791E-03 |
| 8 Ishikawa | -1.62066 | -.61407 | -.01235 | .08842 | 2.60195E-03 |
| 9 Fukui | -1.73074 | -.69261 | -1.80531E-03 | .04850 | .01654 |
| 10 Tokai | .46851 | .98071 | .24526 | -.09330 | -.05542 |
| 11 Kinki | 1.98178 | .28315 | .76218 | -.05506 | -1.91246E-03 |
| 12 Osaka | .15468 | -.94575 | .29529 | .01682 | .07967 |
| 13 Chugoku | -.37151 | .70574 | -.07355 | .10552 | -.03101 |
| 14 Shikoku | -.97923 | .12784 | -.05342 | .07863 | -2.57391E-03 |
| 15 Kyushu | .37249 | 1.55279 | -.15555 | 7.48411E-04 | -.03910 |
| 16 Fukuoka | -1.07982 | -.27095 | .06539 | .04798 | -.08579 |
| 17 Okinawa | -1.72854 | -.65297 | -.05425 | .04169 | .02831 |

った結果を示しておこう。(第3—5表)

まず、累積寄与率をみると、第1主成分 81.2%、第2主成分 98.3%であるので、第2主成分までを分析の対象とする。変数として、地方銀行、都市銀行、中小金融機関、農協、その他(長期信用銀行、信託銀行、全国銀行、信託勘定)の5つをとった。この5つの金融機関の第1主成分と第2主成分の因子負荷量を抜き出すと次のようになった。

| | 第1主成分 | 第2主成分 |
|-----------|----------|----------|
| 1. 地方銀行 | 0.097231 | 0.20006 |
| 2. 都市銀行 | 0.93291 | -0.35751 |
| 3. 中小金融機関 | 0.98084 | -0.00512 |
| 4. 農協 | 0.67259 | 0.73360 |
| 5. その他 | 0.91213 | -0.38303 |

5つの金融機関について、第1主成分は因子負荷量がすべて正の値をとっているため、第1主成分は地域における貸出能力をあらわすと考えられ、また第2主成分は地方銀行と農協が正で都市銀行、その他(長信銀、信託銀行等)が負であるから、第2主成分は貸出に関する各種金融機関の地域特性(都市型、農村型)をあらわしているものと考えられる。

第1主成分が最も大きいのは中小金融機関、次いで地方銀行、都市銀行となっている。このことは、これらの金融機関が地域の貸出に大きな役割を果たしていることを示している。また、第2主成分は地域特性を示し、農協、地方銀行は農村型のところで強く、長信銀や信託銀行等のその他金融機関と都市銀行は相対的に都市型地域に強いことを示している。

次に、サンプルごとに、第1主成分と第2主成分の主成分スコアをみると、次のようになった。

| | 第1主成分 | 第2主成分 |
|--------|----------|----------|
| 1. 北海道 | -0.91175 | 0.22692 |
| 2. 東北 | -0.00237 | 1.42256 |
| 3. 関東 | 5.89207 | 0.24112 |
| 4. 東京 | 3.10809 | -2.14383 |
| 5. 甲信越 | -0.74707 | 0.66321 |
| 6. 北陸 | -1.16880 | -0.17385 |
| 7. 富山 | -1.63712 | -0.60001 |
| 8. 石川 | -1.62066 | -0.61467 |
| 9. 福井 | -1.73074 | -0.69261 |
| 10. 東海 | 0.46851 | 0.98071 |
| 11. 近畿 | 1.98178 | 0.28315 |
| 12. 大阪 | 0.15468 | -0.94575 |
| 13. 中国 | -0.37151 | 0.70574 |
| 14. 四国 | -0.97923 | 0.12784 |
| 15. 九州 | 0.37249 | 1.55279 |

| | | | |
|-----|-----|----------|----------|
| 16. | 福 岡 | -1.97982 | -0.27095 |
| 17. | 沖 縄 | -1.72854 | -0.65297 |

預貯金と同様に、北陸3県の貸出パターンはほぼ等しく、3県は北陸地域として同質性を有することがわかる。各地域を類型化してみる場合、預貯金の場合の類型化を同じく、都市銀行を中心とする都市型と農協を中心とする農村型に分けることができる。

(v) 預貸率

北陸地域の金融機関別預貸率をみると（第3—1表）、地方銀行の預貸率は69.5%と全国的にみてもかなり低いのに対し、都市銀行の預貸率は84.1%、中小金融機関の預貸率は74.9%北陸地域の金融機関合計では55.7%と全国的には中位のレベルにある。北陸地域において預貸率が比較的低いのは、石油ショック以降の企業の資金需要の低迷によるものと思われる。

以上の預貯金、貸出金、預貸率の状況を地域別にまとめたのが、第3—6表である。これと前述の主成分分析の結果をまとめると、各地域の金融機関構造の特徴を、都市銀行主導型の都市型、農協および地方銀行のウェイトが大きい地方農村型、中小金融機関、都市銀行、地方銀行のウェイトが大きい地方都市型の3つのタイプに類型化できそうである。この分類に従えば、北陸地域は東北、甲信越、四国とともに地方農村型に属するといえよう。

(2) 北陸地域の金融機関（地方銀行）の収益構造

前項では、北陸地域の金融機関の構造の特色を預貯金、貸出金、預貸率の面から考察した。そこで本項では、北陸地域の金融機関の中核をなす地方銀行の経営状況をみてみよう。いうまでもなく、各地域の中核をなす金融機関の経営状況はコスト面から各地域の金利に影響を与え、地域的な金利格差を生ぜしめると推測されるからである。

北陸地域の金融機関構造における大きな特色は預貯金においても貸出においても地方銀行のウェイトが圧倒的に高いことであった。このことは、地方銀行の経営態度が北陸地域において、貸出金利の地域的水準に影響を与えているとみてほぼさしつかえないと思われる。

北陸地域に本店を有する地方銀行は北陸銀行、北国銀行、福井銀行、富山銀行の4行であるが、この中で北陸銀行は資金力において他の3行を圧倒的に凌駕している。そこで、これらの地方銀行4行の収益状況の推移をみてみよう。

銀行の利益は、一般に次式により決まる。

$$\text{運用資金量} \times \text{利ザヤ} (\text{運用収益率} - \text{造用原価率}) - \text{経費}$$

この式に従い、北陸地域の地方銀行4行の昭和50年上期から昭和55年下期までの収益状況を整理したのが、第3—7表であり、これをグラフにしたのが、第3—1図である。北陸銀行の運用利ザヤはほぼ一貫して他の3行よりも0.4~0.5ポイント程度下回っているが、昭和54年以降、次第にその差は縮小している。

そこで次に、北陸銀行と他の3行の運用効率の違いは、何に原因があるか。以下その究明を試みてみよう。

運用収益率（＝貸出・コール利息・証券配当利息・その他受入利息／貸出・コール・証券・外為・現金・預け金平均残高）は、運用の大半をなす貸出平均金利とほぼ同じ動きをするのは当然であ

第3—6表 地域別・預金貸出状況（昭和56年3月末現在）

（単位：％）

| | | 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 |
|-------|-----|-------------|--------------|--------------|
| 北 海 道 | 預貯金 | 中 小 (28.9) | 郵 貯 (21.8) | 都 銀 (20.6) |
| | 貸出金 | 中 小 (37.8) | 都 銀 (24.0) | 地 銀 (17.2) |
| | 預貸率 | 農 協 (79.4) | 中 小 (77.0) | 地 銀 (74.3) |
| 東 北 | 預貯金 | 地 銀 (34.4) | 中 小 (24.8) | 郵 貯 (21.7) |
| | 貸出金 | 地 銀 (42.0) | 中 小 (32.5) | 農 協 (14.8) |
| | 預貸率 | 都 銀 (80.2) | 中 小 (77.5) | 地 銀 (72.0) |
| 関 東 | 預貯金 | 都 銀 (35.4) | 中 小 (14.2) | 郵 貯 (12.6) |
| | 貸出金 | 都 銀 (43.6) | そ の 他 (25.6) | 中 小 (16.6) |
| | 預貸率 | 都 銀 (85.3) | 中 小 (80.8) | 地 銀 (76.3) |
| 甲 信 越 | 預貯金 | 地 銀 (30.0) | 中 小 (23.8) | 郵 貯 (22.5) |
| | 貸出金 | 地 銀 (39.5) | 中 小 (38.3) | 農 協 (15.3) |
| | 預貸率 | 中 小 (79.7) | 地 銀 (64.4) | 都 銀 (60.2) |
| 北 陸 | 預貯金 | 地 銀 (38.0) | 中 小 (23.5) | 郵 貯 (18.8) |
| | 貸出金 | 地 銀 (47.4) | 中 小 (31.6) | 農 協 (9.3) |
| | 預貸率 | 都 銀 (84.1) | 中 小 (74.9) | 地 銀 (69.5) |
| 東 海 | 預貯金 | 中 小 (24.2) | 郵 貯 (21.9) | 地 銀 (17.1) |
| | 貸出金 | 中 小 (34.9) | 都 銀 (24.9) | 地 銀 (23.8) |
| | 預貸率 | 中 小 (73.2) | 地 銀 (70.8) | 都 銀 (67.5) |
| 近 畿 | 預貯金 | 都 銀 (31.3) | 中 小 (20.5) | 郵 貯 (15.8) |
| | 貸出金 | 都 銀 (41.2) | 中 小 (26.1) | そ の 他 (16.1) |
| | 預貸率 | 地 銀 (83.5) | 都 銀 (82.1) | 中 小 (79.4) |
| 中 国 | 預貯金 | 地 銀 (28.7) | 郵 貯 (24.8) | 中 小 (22.9) |
| | 貸出金 | 中 小 (34.6) | 地 銀 (31.8) | 農 協 (0.9) |
| | 預貸率 | 中 小 (77.3) | 都 銀 (74.6) | 地 銀 (68.9) |
| 四 国 | 預貯金 | 地 銀 (32.6) | 中 小 (23.7) | 郵 貯 (20.7) |
| | 貸出金 | 地 銀 (42.8) | 中 小 (35.6) | 農 協 (11.9) |
| | 預貸率 | 都 銀 (78.7) | 中 小 (74.8) | 地 銀 (65.2) |
| 九 州 | 預貯金 | 地 銀 (27.8) | 郵 貯 (25.2) | 中 小 (24.7) |
| | 貸出金 | 地 銀 (36.4) | 中 小 (35.0) | 農 協 (11.6) |
| | 預貸率 | 都 銀 (87.6) | 中 小 (77.8) | 地 銀 (71.7) |
| 沖 縄 | 預貯金 | 地 銀 (51.2) | 農 協 (17.8) | 中 小 (13.3) |
| | 貸出金 | 地 銀 (59.7) | 中 小 (17.2) | 農 協 (14.4) |
| | 預貸率 | 中 小 (80.0) | 地 銀 (72.3) | 農 協 (50.3) |
| 富 山 | 預貯金 | 地 銀 (37.2) | 中 小 (24.5) | 郵 貯 (16.8) |
| | 貸出金 | 地 銀 (44.9) | 中 小 (32.8) | 農 協 (10.0) |
| | 預貸率 | 都 銀 (88.8) | 中 小 (75.0) | 地 銀 (67.7) |
| 石 川 | 預貯金 | 地 銀 (37.7) | 中 小 (23.1) | 郵 貯 (18.7) |
| | 貸出金 | 地 銀 (46.6) | 中 小 (29.1) | 農 協 (8.2) |
| | 預貸率 | 都 銀 (88.2) | 中 小 (77.1) | 地 銀 (75.9) |
| 福 井 | 預貯金 | 地 銀 (39.5) | 中 小 (22.9) | 郵 貯 (21.8) |
| | 貸出金 | 地 銀 (52.7) | 中 小 (34.4) | 農 協 (9.9) |
| | 預貸率 | 中 小 (71.5) | 都 銀 (67.9) | 地 銀 (63.5) |

（資料）金融銀行諸統計 1981.8 社団法人 全国地銀協会

第3-7 表資産運用効率推移

(単位百万)

| (1) (運用勘定残) | 50 上 | 50 下 | 51 上 | 51 下 | 52 上 | 52 下 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 北陸銀行 | 1,305,542 | 1,434,887 | 1,498,393 | 1,591,726 | 1,701,556 | 1,810,112 |
| 富山銀行 | 62,779 | 68,507 | 74,118 | 77,806 | 83,906 | 87,738 |
| 北国銀行 | 565,753 | 597,691 | 620,677 | 660,736 | 693,463 | 737,698 |
| 福井銀行 | 503,033 | 526,564 | 555,412 | 595,409 | 622,064 | 644,204 |
| 4 行 | 2,437,107 | 2,627,649 | 2,748,600 | 2,925,677 | 3,100,989 | 3,279,752 |

(運用収益)

| | | | | | | |
|------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 北陸銀行 | 51,638 | 52,145 | 53,753 | 55,969 | 57,548 | 55,657 |
| 富山銀行 | 2,746 | 2,863 | 2,963 | 3,113 | 3,233 | 3,165 |
| 北国銀行 | 23,023 | 23,390 | 23,761 | 24,448 | 25,084 | 24,885 |
| 福井銀行 | 20,032 | 20,328 | 20,757 | 21,461 | 22,090 | 21,147 |
| 4 行 | 97,439 | 98,726 | 101,234 | 104,991 | 107,955 | 104,854 |

(運用原価)

| | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 北陸銀行 | 32,672 | 33,791 | 34,071 | 34,820 | 35,686 | 34,151 |
| 富山銀行 | 1,675 | 1,783 | 1,786 | 1,843 | 1,889 | 1,790 |
| 北国銀行 | 13,535 | 14,096 | 13,954 | 14,087 | 14,357 | 13,720 |
| 福井銀行 | 11,835 | 12,298 | 12,196 | 12,353 | 12,569 | 11,606 |
| 4 行 | 59,717 | 65,968 | 62,007 | 63,103 | 64,501 | 61,267 |

(運用利益)

| | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 北陸銀行 | 18,966 | 18,354 | 19,682 | 21,149 | 21,862 | 21,506 |
| 富山銀行 | 1,071 | 1,080 | 1,177 | 1,270 | 1,344 | 1,375 |
| 北国銀行 | 9,488 | 9,294 | 9,807 | 10,361 | 10,727 | 11,165 |
| 福井銀行 | 8,197 | 8,030 | 8,561 | 9,108 | 9,521 | 9,541 |
| 4 行 | 37,722 | 32,758 | 39,227 | 41,888 | 43,454 | 43,587 |

(運用収率)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 7.92 | 7.26 | 7.18 | 7.04 | 6.76 | 6.14 |
| 富山銀行 | 8.74 | 8.36 | 8.00 | 8.00 | 7.70 | 7.22 |
| 北国銀行 | 8.14 | 7.82 | 7.66 | 7.52 | 7.24 | 6.74 |
| 福井銀行 | 7.96 | 7.72 | 7.48 | 7.20 | 7.10 | 6.56 |
| 4 行 | 8.00 | 7.52 | 7.36 | 7.18 | 6.96 | 6.40 |

(運用原価率)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 5.00 | 4.70 | 4.54 | 4.38 | 4.20 | 3.78 |
| 富山銀行 | 5.34 | 5.20 | 4.82 | 4.74 | 5.50 | 4.08 |
| 北国銀行 | 4.78 | 4.72 | 4.50 | 4.26 | 4.14 | 3.72 |
| 福井銀行 | 4.70 | 4.68 | 4.40 | 4.14 | 4.04 | 3.60 |
| 4 行 | 4.90 | 5.02 | 4.52 | 4.32 | 4.16 | 3.74 |

(運用利ザヤ)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 2.92 | 2.56 | 2.64 | 2.66 | 2.56 | 2.36 |
| 富山銀行 | 3.40 | 3.16 | 3.18 | 3.26 | 3.20 | 3.14 |
| 北国銀行 | 3.36 | 3.10 | 3.16 | 3.26 | 3.10 | 3.02 |
| 福井銀行 | 3.26 | 3.04 | 3.08 | 3.06 | 3.06 | 2.96 |
| 4 行 | 3.10 | 2.50 | 2.84 | 2.86 | 2.80 | 2.66 |

(2) (単位百万)

| (運用勘定残) | 53 上 | 53 下 | 54 上 | 54 下 | 55 上 | 55 下 |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 北陸銀行 | 1,925,815 | 2,018,567 | 2,184,792 | 2,269,010 | 2,281,737 | 2,412,664 |
| 富山銀行 | 94,528 | 101,438 | 108,596 | 112,685 | 117,541 | 124,065 |
| 北国銀行 | 786,378 | 837,888 | 904,404 | 945,490 | 966,386 | 1,029,414 |
| 福井銀行 | 687,681 | 728,785 | 792,845 | 821,216 | 846,388 | 870,002 |
| 4 行 | 3,494,402 | 3,686,678 | 3,987,637 | 4,148,401 | 4,212,052 | 4,436,145 |

(運用収益)

| | | | | | | |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 北陸銀行 | 55,139 | 55,726 | 60,286 | 71,326 | 86,200 | 88,021 |
| 富山銀行 | 3,105 | 3,091 | 3,173 | 3,661 | 4,392 | 4,628 |
| 北国銀行 | 24,757 | 24,630 | 26,161 | 30,089 | 36,818 | 37,703 |
| 福井銀行 | 21,157 | 20,968 | 22,803 | 26,371 | 31,402 | 31,792 |
| 4 行 | 104,158 | 104,415 | 112,423 | 131,447 | 158,812 | 162,144 |

(運用原価)

| | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 北陸銀行 | 31,676 | 30,948 | 34,272 | 43,471 | 54,339 | 62,246 |
| 富山銀行 | 1,664 | 1,606 | 1,703 | 2,073 | 2,710 | 3,175 |
| 北国銀行 | 12,692 | 12,429 | 13,476 | 16,619 | 21,822 | 25,188 |
| 福井銀行 | 10,810 | 10,385 | 11,730 | 14,492 | 19,060 | 21,463 |
| 4 行 | 56,842 | 55,368 | 61,181 | 76,655 | 97,931 | 112,072 |

(運用利益)

| | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 北陸銀行 | 23,463 | 24,778 | 26,014 | 27,855 | 31,861 | 25,775 |
| 富山銀行 | 1,441 | 1,485 | 1,470 | 1,588 | 1,682 | 1,453 |
| 北国銀行 | 12,065 | 12,201 | 12,686 | 13,470 | 14,996 | 12,515 |
| 福井銀行 | 10,347 | 10,583 | 11,073 | 11,879 | 12,342 | 10,329 |
| 4 行 | 47,316 | 49,047 | 51,242 | 54,792 | 60,881 | 50,072 |

(運用収益率)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 5.72 | 5.52 | 5.52 | 6.28 | 7.56 | 7.30 |
| 富山銀行 | 6.56 | 6.10 | 5.84 | 6.50 | 7.48 | 7.46 |
| 北国銀行 | 6.30 | 5.88 | 5.80 | 6.36 | 7.62 | 7.32 |
| 福井銀行 | 6.16 | 5.66 | 5.76 | 6.42 | 7.42 | 7.30 |
| 4 行 | 5.96 | 5.66 | 5.64 | 6.34 | 7.54 | 7.32 |

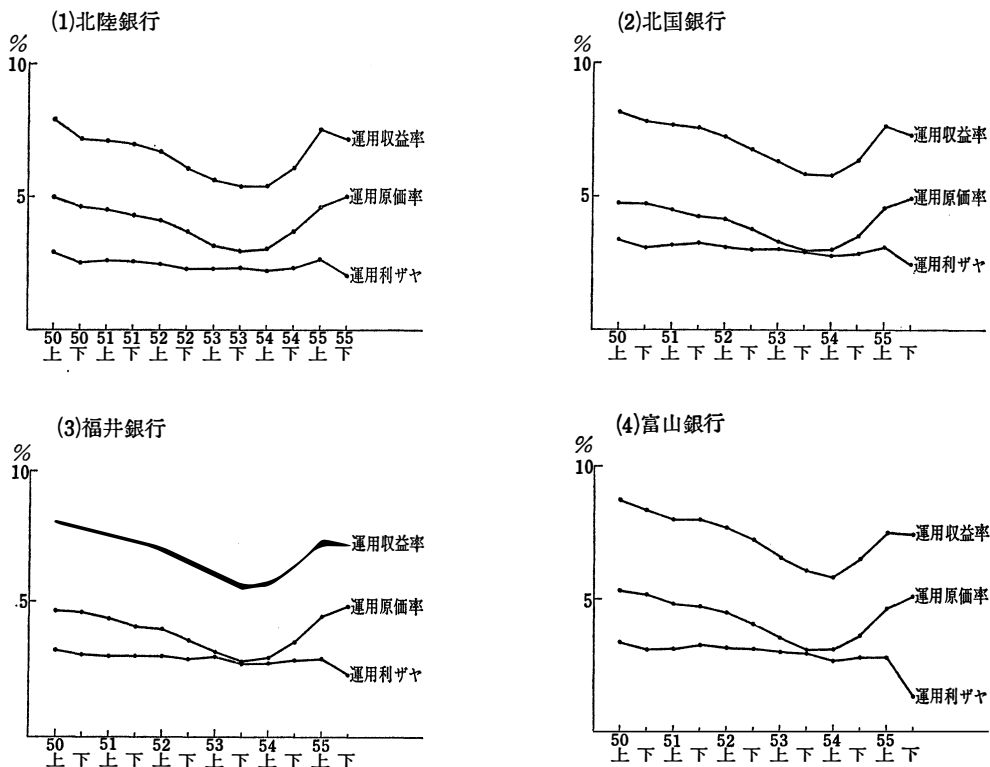
(運用原価率)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 3.28 | 3.06 | 3.14 | 3.80 | 4.76 | 5.16 |
| 富山銀行 | 3.52 | 3.10 | 3.14 | 3.68 | 4.62 | 5.12 |
| 北国銀行 | 3.22 | 2.96 | 3.00 | 3.50 | 4.52 | 4.90 |
| 福井銀行 | 3.14 | 2.84 | 2.96 | 3.52 | 4.50 | 4.94 |
| 4 行 | 3.26 | 3.00 | 3.06 | 3.70 | 4.66 | 5.06 |

(運用利ザヤ)

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 北陸銀行 | 2.44 | 2.46 | 2.38 | 2.48 | 2.80 | 2.14 |
| 富山銀行 | 3.04 | 3.00 | 2.70 | 2.82 | 2.86 | 1.39 |
| 北国銀行 | 3.08 | 2.96 | 2.80 | 2.86 | 3.10 | 2.42 |
| 福井銀行 | 3.02 | 2.82 | 2.80 | 2.90 | 2.92 | 2.36 |
| 4 行 | 2.70 | 2.66 | 2.58 | 2.64 | 2.88 | 2.26 |

第3-1図 北陸地域の地方銀行の収益構造



り、公定歩合等の金融政策などの外的条件に大きく左右される。ただ、地方銀行4行間において、若干の差があるのは、中小企業向け、大企業向けの比重の相違といった貸出構成上の違いから生じ、一般に中小企業向けの比重の高い銀行の方が高くなると考えられる。従って、大企業向け融資比率の高い北陸銀行の運用収益率は他の3行に比べ0.5ポイント程度下回っている。また、貸出構成から、金利高騰期には北陸銀行の貸出金利のほうが金融情勢により反応しやすい体質をもっていると考えられ、このため昭和54年から55年に及ぶ金利高騰期には、運用収益率の格差はほとんど無くなっている。

次に、運用原価率(=預金利息・外部負債利息・その他支払利息/運用資金量平均残高)をみると、各行ばらつきがあるが概して、北陸銀行の方が北国、福井両行を若干上回っている。(富山銀行はしばしば北陸銀行の運用原価率を上回っている。)この違いは外部負債依存度の相違に基因している。第3-8表は運用原価に占める外部負債支払利息の割合を示している。外部負債支払利息額は北陸銀行が圧倒的に多く、北陸銀行の外部負債依存度が高いことを示している。このことは必然的に運用原価に占める外部負債支払利息の割合を大きくし、運用原価率を押し上げる結果となっている。

最後に、北陸地域の地方銀行4行の経費率をみると、北陸銀行の経費率は他の3行の経費率をかなり下回っている。これは主として運用資金量の大きさ、つまりスケールメリットの相異が原因であるが、他の3行については機械化の遅れなどにもなる効率の悪さにもその原因がある。

第3—8表

(1) 運用原価に占める外部負債の割合

| 外部負債支払利息 | 50 上 | 50 下 | 51 上 | 51 下 | 52 上 | 52 下 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 北 陸 銀 行 | 1,377 | 1,465 | 1,381 | 1,436 | 1,471 | 1,455 |
| 富 山 銀 行 | 5 | 6 | 6 | 7 | 7 | 8 |
| 北 国 銀 行 | 63 | 87 | 88 | 97 | 80 | 289 |
| 福 井 銀 行 | 196 | 90 | 84 | 185 | 61 | 229 |
| 4 行 | 1,641 | 1,648 | 1,559 | 1,725 | 1,619 | 1,981 |
| 運用原価中に占める割合 (%) | | | | | | |
| 北 陸 銀 行 | 4.21 | 4.34 | 4.05 | 4.12 | 4.12 | 4.26 |
| 富 山 銀 行 | 0.30 | 0.34 | 0.34 | 0.38 | 0.37 | 0.45 |
| 北 国 銀 行 | 0.47 | 0.62 | 0.63 | 0.69 | 0.56 | 2.11 |
| 福 井 銀 行 | 1.66 | 0.73 | 0.69 | 1.50 | 0.49 | 1.97 |
| 4 行 | 2.75 | 2.50 | 2.51 | 2.73 | 2.62 | 3.23 |

(2) 運用原価に占める外部負債の割合

| 外部負債支払利息 | 53 上 | 53 下 | 54 上 | 54 下 | 55 上 | 55 下 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 北 陸 銀 行 | 1,244 | 1,769 | 2,224 | 4,292 | 3,955 | 4,044 |
| 富 山 銀 行 | 8 | 7 | 7 | 8 | 16 | 6 |
| 北 国 銀 行 | 202 | 342 | 119 | 406 | 327 | 512 |
| 福 井 銀 行 | 78 | 109 | 104 | 106 | 109 | 205 |
| 4 行 | 1,532 | 2,227 | 2,454 | 4,812 | 4,407 | 4,767 |
| 運用原価中に占める割合 (%) | | | | | | |
| 北 陸 銀 行 | 3.93 | 5.72 | 6.49 | 9.87 | 7.28 | 6.50 |
| 富 山 銀 行 | 0.48 | 0.44 | 0.41 | 0.39 | 0.59 | 0.19 |
| 北 国 銀 行 | 1.59 | 2.75 | 0.88 | 2.44 | 1.50 | 2.03 |
| 福 井 銀 行 | 0.72 | 1.05 | 0.89 | 0.73 | 0.57 | 0.96 |
| 4 行 | 2.70 | 4.02 | 4.01 | 6.28 | 4.50 | 4.25 |

(注) 外部負債・支払利息=コールマネー利息+借入金利息

以上から、北陸地域の地方銀行の4行収益構造の相違が明らかになった。北陸銀行の資金量においても、また収益構造においても他の3行とかなり異った特色がみられる。

4. 短期貸出金利の動向とその決定要因

銀行の貸出金利については、返済期限が1年以上の貸出ならびに、1件百万円以下の貸出を除いて、臨時金利調整法によりその最高の最高限度は、昭和33年6月以降全国銀行協会連合会の申合せにより、公定歩合の変更の都度全国銀行協会連合会の自主規制という形で、連動して動かされてきた。更に、昭和34年3月に「標準金利制」が導入され、同じく全国銀行協会連合会の申合せにより公定歩合変更の都度同幅だけ動かしてきた。標準金利とは信用度の特に高い手形の割引および貸付に適用される貸出金利であるから、預金担保による手形貸付に適用される金利を例外とすれば、この標準金利が貸出金利の事実上の下限となっていた。^(注6)

(注6) 預金担保の手形貸付は、担保となる預金の金利を基準に貸付金利が決められるため、結果

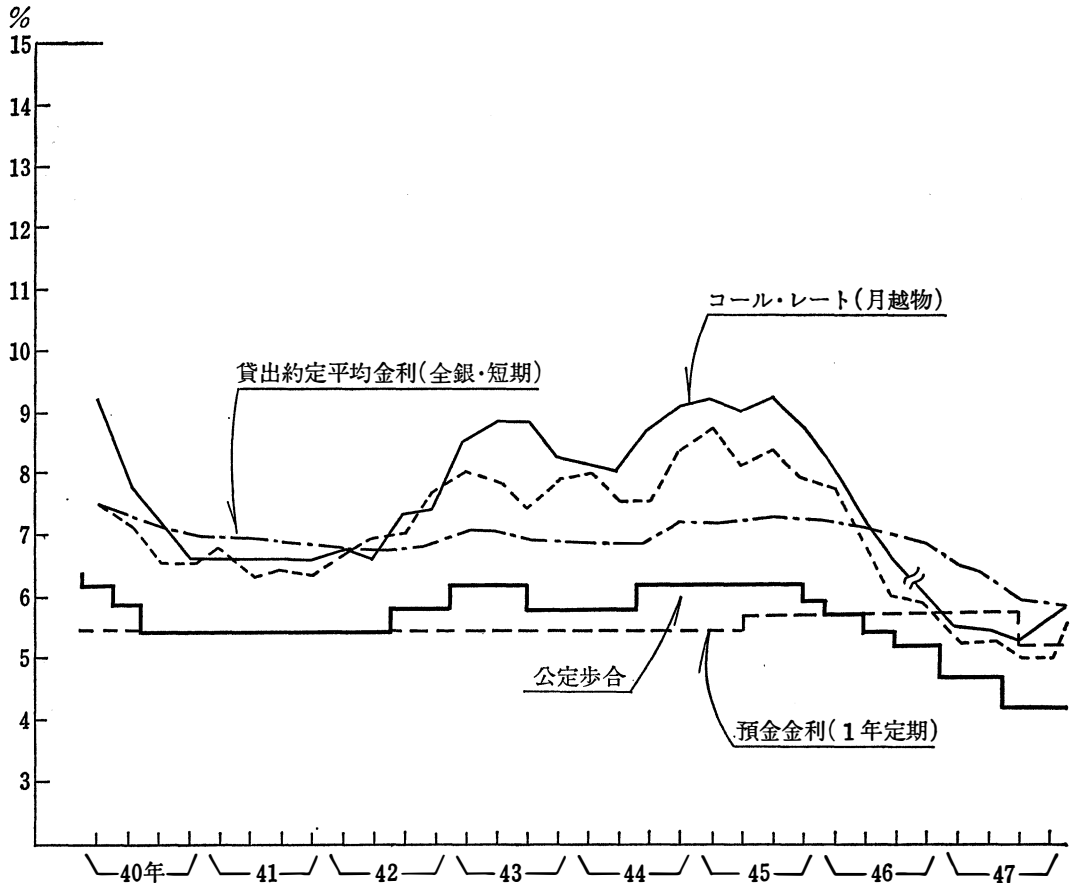
的に標準金利よりも低い金利が適用されることが多い。

しかし、この全国銀行協会の申合せは独占禁止法に抵触するのではないかとの疑問がもたれるようになったこともあり、昭和50年4月以降はこの申合せが廃止され、現在は各行が自主的にその最高限度と標準金利を決定することになっている。つまり、公定歩合の変更に際し日銀総裁が各金融機関に追随を要請し、これを受けて各行が自主的に公定歩合に連動して貸出金利を変更する形をとっている。ただ、実際にはいわゆるリーディング・バンク方式がとられ、公定歩合変更に際し一部の銀行が先行して貸出金利を変更し、これに他の銀行を追随しており、実態的には以前と大差はない。

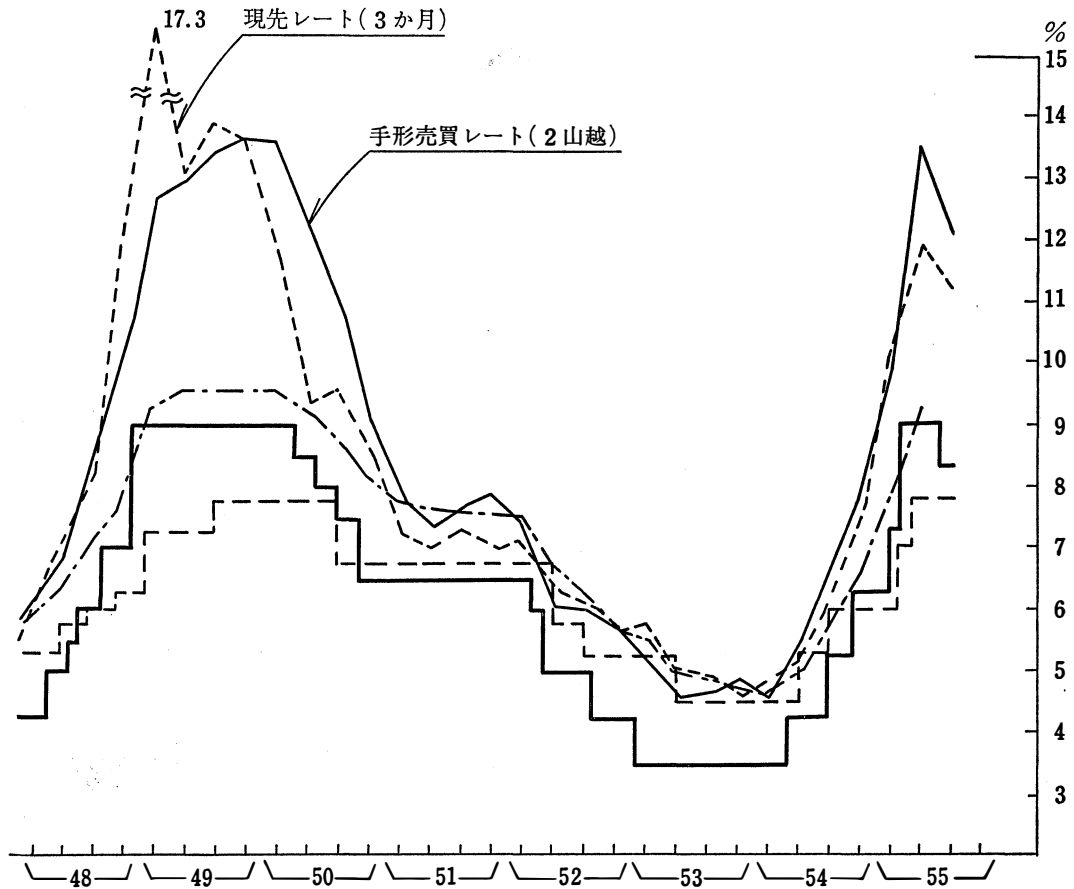
銀行はこのように決まってくる貸出金利の上限・下限の範囲内において、貸出先の信用度等に応じて適用金利を決定している。

第4-1図はわが国の主要な短期金利の推移を示したものである。全国銀行の貸出約定平均金利(短期)はコール・レート等の短期金融市場金利に比べて硬直的な動きを示している。これは、前述の如く貸出金利が公定歩合を中心とする規制金利の変動に大きく左右されること、また貸出取引はコール、等の市場取引と異なり、顧客との相対取引であるという性格にもとづくものと考えられる。

第4-1図 主要短期金利の推移



(出所) 日本銀行調査月報。



ところで、短期貸出金利の水準については、①短期金融市場における資金の需給状況、②公定歩合の動向に示される政策当局の判断、③金融機関の貸出行動の3つの要因が大きな影響を与えると考えられる。特に、都市銀行、地方銀行といった金融機関の業態間の違いによる短期貸出金利の差異は、これら金融機関の貸出行動あるいは収益構造の違いによるものである。一般に、外部負債（コール・マネーおよび借入金）依存度が高く、また融資先構造において大企業向け貸出の比重の高い都市銀行は地方銀行に比べ金融情勢に対しより敏感に反応しやすい体質をもっているため、特に金融逼迫期には貸出金利が地方銀行のそれを上回るという状況が生ずる。このことは貸出金利の公定歩合への追随率が都市銀行の方が大きいという事実を符合する。

ところで、貸出金利に地域格差が存続することは、地域別貸出約定平均金利の推移から明らかである。（第4—1表）一般に、東京、大阪、名古屋といった大都市を有する地域では金利が低く、北海道、東北、九州といった地方の金利は高い。北陸をはじめその他の地域はその中間に位置している。このような地域格差は金融の繁閑によって拡大縮小する。金利の下落局面では地域格差は拡大し、上昇局面では縮小する傾向がみられる。これは大都市を有する地域の金利は公定歩合との連動性が高く、より弾力的であることによる。特に、公定歩合の引上げによる金利の上昇局面において、大都市地域の金利の上昇率が高いことによる。

第4—1表 地方銀行地域別貸出約定平均金利

(単位：%)

| | | 北海道 東北① | 関東② | 甲信越 北陸③ | 東海④ | 近畿⑤ | 中国⑥ | 四国⑦ | 九州 沖縄⑧ |
|----|----|------------|-------|------------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 51 | 1 | 8.604 | 8.401 | 8.471 | 8.504 | 8.551 | 8.609 | 8.532 | 8.679 |
| | 2 | 8.552 | 8.353 | 8.418 | 8.449 | 8.489 | 8.555 | 8.484 | 8.626 |
| | 3 | 8.486 | 8.301 | 8.374 | 8.376 | 8.417 | 8.495 | 8.427 | 8.577 |
| | 4 | 8.474 | 8.283 | 8.349 | 8.346 | 8.376 | 8.455 | 8.399 | 8.557 |
| | 5 | 8.454 | 8.261 | 8.333 | 8.323 | 8.351 | 8.425 | 8.376 | 8.545 |
| | 6 | 8.429 | 8.237 | 8.312 | 8.290 | 8.321 | 8.394 | 8.348 | 8.519 |
| | 7 | 8.404 | 8.221 | 8.295 | 8.269 | 8.295 | 8.371 | 8.326 | 8.498 |
| | 8 | 8.385 | 8.210 | 8.278 | 8.254 | 8.274 | 8.355 | 8.307 | 8.481 |
| | 9 | 8.380 | 8.197 | 8.264 | 8.232 | 8.255 | 8.343 | 8.294 | 8.460 |
| | 10 | 8.405 | 8.193 | 8.255 | 8.224 | 8.245 | 8.336 | 8.285 | 8.447 |
| | 11 | 8.395 | 8.173 | 8.243 | 8.207 | 8.229 | 8.321 | 8.268 | 8.438 |
| | 12 | 8.380 | 8.157 | 8.228 | 8.186 | 8.209 | 8.302 | 8.253 | 8.412 |
| 52 | 1 | 8.373 | 8.149 | 8.224 | 8.180 | 8.204 | 8.292 | 8.241 | 8.415 |
| | 2 | 8.364 | 8.144 | 8.216 | 8.169 | 8.192 | 8.286 | 8.236 | 8.403 |
| | 3 | 8.340 | 8.102 | 8.193 | 8.128 | 8.164 | 8.265 | 8.214 | 8.376 |
| | 4 | 8.314 | 8.026 | 8.144 | 8.071 | 8.117 | 8.214 | 8.149 | 8.337 |
| | 5 | 8.206 | 7.831 | 8.006 | 7.911 | 7.947 | 8.090 | 8.000 | 8.232 |
| | 6 | 8.057 | 7.603 | 7.822 | 7.713 | 7.737 | 7.901 | 7.799 | 8.061 |
| | 7 | 7.951 | 7.464 | 7.718 | 7.579 | 7.607 | 7.742 | 7.677 | 7.952 |
| | 8 | 7.831 | 7.354 | 7.602 | 7.449 | 7.464 | 7.603 | 7.552 | 7.840 |
| | 9 | 7.728 | 7.215 | 7.472 | 7.281 | 7.312 | 7.465 | 7.407 | 7.710 |
| | 10 | 7.596 | 7.070 | 7.321 | 7.143 | 7.184 | 7.329 | 7.314 | 7.594 |
| | 11 | 7.483 | 6.920 | 7.184 | 7.007 | 7.062 | 7.202 | 7.192 | 7.483 |
| | 12 | 7.364 | 6.825 | 7.075 | 6.896 | 6.951 | 7.082 | 7.086 | 7.361 |
| 53 | 1 | 7.317 | 6.786 | 7.034 | 6.850 | 6.910 | 7.021 | 7.041 | 7.312 |
| | 2 | 7.270 | 6.752 | 6.998 | 6.805 | 6.867 | 6.976 | 6.990 | 7.262 |
| | 3 | 7.178 | 6.664 | 6.932 | 6.707 | 6.787 | 6.887 | 6.911 | 7.176 |
| | 4 | 7.097 | 6.557 | 6.840 | 6.613 | 6.683 | 6.806 | 6.813 | 7.092 |
| | 5 | 6.949 | 6.381 | 6.688 | 6.454 | 6.529 | 6.000 | 6.644 | 6.979 |
| | 6 | 6.828 | 6.268 | 6.560 | 6.321 | 6.404 | 6.534 | 6.505 | 6.850 |
| | 7 | 6.745 | 6.205 | 6.486 | 6.246 | 6.317 | 6.442 | 6.418 | 6.762 |
| | 8 | 6.683 | 6.155 | 6.423 | 6.193 | 6.252 | 6.375 | 6.349 | 6.703 |
| | 9 | 6.609 | 6.094 | 6.343 | 6.121 | 6.174 | 6.298 | 6.291 | 6.620 |
| | 10 | 6.573 | 6.061 | 6.307 | 6.094 | 6.146 | 6.256 | 6.253 | 6.590 |
| | 11 | 6.513 | 6.004 | 6.254 | 6.043 | 6.096 | 6.192 | 6.198 | 6.531 |
| | 12 | 6.432 | 5.934 | 6.180 | 5.972 | 6.018 | 6.114 | 6.133 | 6.436 |
| 54 | 1 | 6.394 | 5.917 | 6.163 | 5.955 | 5.992 | 6.084 | 6.097 | 6.412 |
| | 2 | 6.349 | 5.888 | 6.131 | 5.929 | 5.962 | 6.051 | 6.061 | 6.364 |
| | 3 | 6.285 | 5.852 | 6.081 | 5.870 | 5.917 | 5.994 | 6.023 | 6.316 |
| | 4 | 6.289 | 5.867 | 6.084 | 5.869 | 5.920 | 6.000 | 6.029 | 6.315 |
| | 5 | 6.348 | 5.978 | 6.141 | 5.945 | 6.015 | 6.056 | 6.080 | 6.386 |
| | 6 | 6.393 | 6.065 | 6.185 | 6.004 | 6.074 | 6.109 | 6.129 | 6.419 |
| | 7 | 6.459 | 6.159 | 6.265 | 6.087 | 6.158 | 6.178 | 6.221 | 6.481 |
| | 8 | 6.587 | 6.347 | 6.429 | 6.251 | 6.336 | 6.352 | 6.376 | 6.622 |
| | 9 | 6.714 | 6.518 | 6.574 | 6.400 | 6.491 | 6.493 | 6.519 | 6.748 |

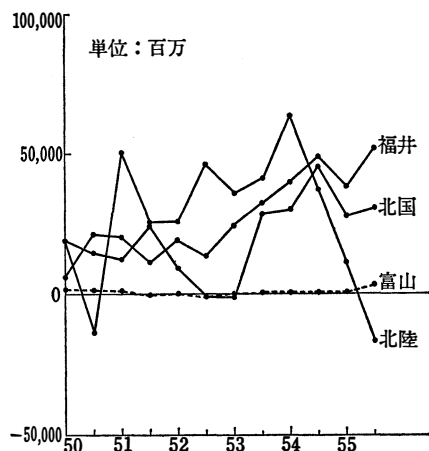
| | | | | | | | | | |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 10 | 6.855 | 6.661 | 6.739 | 6.572 | 6.648 | 6.683 | 6.656 | 6.876 |
| | 11 | 6.983 | 6.823 | 6.882 | 6.747 | 6.812 | 6.830 | 6.814 | 6.993 |
| | 12 | 7.133 | 7.014 | 7.048 | 6.939 | 6.994 | 7.005 | 6.989 | 7.138 |
| 55 | 1 | 7.244 | 7.143 | 7.158 | 7.079 | 7.123 | 7.111 | 7.130 | 7.245 |
| | 2 | 7.351 | 7.285 | 7.265 | 7.210 | 7.253 | 7.236 | 7.250 | 7.342 |
| | 3 | 7.606 | 7.715 | 7.567 | 7.577 | 7.586 | 7.563 | 7.582 | 7.621 |
| | 4 | 7.990 | 8.196 | 7.986 | 8.050 | 8.013 | 7.976 | 8.025 | 8.014 |
| | 5 | 8.337 | 8.623 | 8.374 | 8.469 | 8.408 | 8.398 | 8.430 | 8.380 |
| | 6 | 8.601 | 8.862 | 8.651 | 7.711 | 8.657 | 8.682 | 8.713 | 8.648 |
| | 7 | 8.744 | 8.955 | 8.784 | 8.804 | 8.775 | 8.801 | 8.849 | 8.765 |
| | 8 | 8.780 | 8.930 | 8.791 | 8.799 | 8.790 | 8.822 | 8.876 | 8.784 |
| | 9 | 8.718 | 8.785 | 8.673 | 8.676 | 8.697 | 8.746 | 8.796 | 8.708 |
| | 10 | 8.666 | 8.698 | 8.598 | 8.599 | 8.631 | 8.673 | 8.738 | 8.659 |
| | 11 | 8.585 | 8.543 | 8.481 | 8.460 | 8.515 | 8.575 | 8.637 | 8.580 |

このような金利の地域格差が変動の差異が生ずるのは、基本的にはその地域の資金需給状況によるが、更に分れば、第1に各地域の経済活動水準や産業構造といった経済実体面の相違と、第2に地域的な資金フロー、金融機関の構成、預貯金・貸出の規模等の金融面の相違によるといえよう。

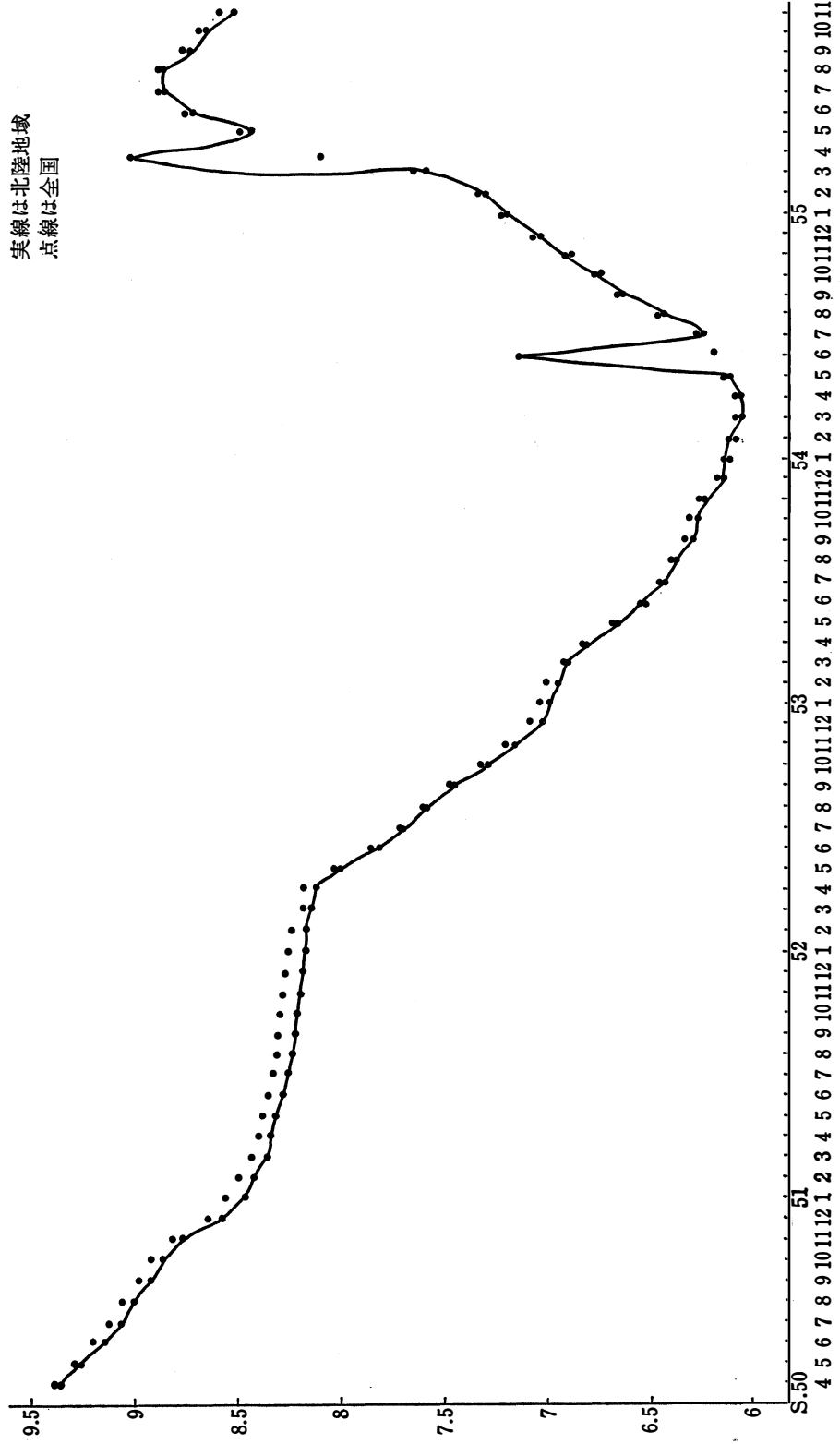
北陸地域は都市型地域と農村型地域のほぼ中間に属する関係上、貸出金利についても、全国レベルにはほぼ等しい動きを示している。第4—2図は北陸地域における地方銀行の貸出約定平均金利を全国のそれと比較したものである。北陸地域の地方銀行の貸出約定平均金利は全国平均レベルを若干下回る形で推移しているが、54年6月と55年4月は全国レベルを0.9～1ポイント程度、その月だけ急上昇していることが目につく。これは北陸地域の地方銀行の貸出金利のプライス・リーダーであり、北陸地域の貸出シェアが極めて大きい北陸銀行の資金ポジションの悪化に起因するものとみられる。第4—3図は北陸地域の地方銀行4行の資金ポジションの推移を示したものである。北陸銀行を除く3行の資金ポジションはほぼすべての期間にわたって正であり、典型的な地方銀行の動きを示しているのに対し、北陸銀行の資上ポジションは大きく変動し、金融が極度に逼迫した時期には負となっている。これは北陸銀行の外部負債依存度が他の3行に比べ、極しく高いことによる。このため資金ポジションはコール・レート等の短期金融市場金利と密接に関連してくることになり北陸銀行の資金ポジションと動きと貸出約定平均金利の動きは大雑把にいて逆の相関を有することになる。

ところで、貸出約定平均金利は公定歩合と連動性を持つ「標準金利」、いわゆる短期プライム・レートに大きく依存している。次節の第3—5表で示すように、北陸地域では、貸出約定平均金利の変動幅が短期プライム・レートの変動幅に完全に追随するまでには、4～5ヶ月間程度かかる。ただ、この追従率は必ずしも安定しているわけではなく、その時々資金需給状況に左右される。最近のような企業の資金需要が弱い状

第4—3 北陸地域地方銀行の資金ポジション



第4—2図 貸出約定平均金利(単位:年利%)



況の下では追従率は低く、完全に追従するまでには更に長い期間を要するようになってきている。従って、北陸地域の貸出約定平均金利の水準を基本的に規定しているのは、短期プライム・レート水準ではあるが、貸出約定平均金利の予測を行う場合、短期プライム・レートへの追従率を決定している要因に注目すべきであろう。その要因としては次のようなものがあげられよう。

第1に北陸地域の経済活動水準を示す、鉱工業生産、売上高、県民所得および地域産業に占める第2次産業の割合等の実物的要因があげられよう。

製造業を中心とする第2次産業の比重が高く、従って、鉱工業生産、売上高、県民所得の大きな地域では、資金需要も強く金利に敏感に反応するため、貸出金利も金融市場の動向に大きく左右されることになる。

第2に、資金の供給側の要因として、貯蓄残高、財政資金の動き、金融機関構造、金融機関の資金ポジション等があげられる。

これらの要因が複雑に絡み合って短期プライム・レートへの追従率ひいては短期貸出金利を決定しているわけである。